

令和 7 年度

卷斎場建設機械設備工事

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
M－0 1	機械設備工事特記仕様書（1）	N S	M－1 4	空調設備 配管系統図	N S
M－0 2	機械設備工事特記仕様書（2）	N S	M－1 5	空調設備 1 階平面図	1／100
M－0 3	設計概要・工事区分表	N S	M－1 6	空調設備 2 階平面図	1／100
M－0 4	配置図・付近見取図	1／200	M－1 7	換気設備 ダクト系統図	N S
M－0 5	衛生設備 機器表・器具表	N S	M－1 8	換気設備 1 階平面図	1／100
M－0 6	衛生設備 系統図	N S	M－1 9	換気設備 2 階平面図	1／100
M－0 7	衛生設備 1 階平面図	1／100	M－2 0	計装設備 計装図	N S
M－0 8	衛生設備 1 階詳細図	1／50	M－2 1	計装設備 1 階平面図	1／100
M－0 9	衛生設備 樹表・縦断図	N S	M－2 2	計装設備 2 階平面図	1／100
M－1 0	衛生設備 浄化槽工事仕様書	1／50	M－2 3	仮設計画図 1（ステップ図）（参考図面）	1／200
M－1 1	撤去工事 配置図	1／200	M－2 4	仮設計画図 2（ステップ図）（参考図面）	1／200
M－1 2	空調設備 機器表	N S	M－2 5	外構計画図（外構一期工事）（参考図面）	1／200
M－1 3	換気設備 機器表	N S			

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1. 工事名称

巻斎場建設機械設備工事

2. 工事場所

新潟市西蒲区和納 地内

3. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防令別表第一	備 考
斎場	RC造	2階建	1,199.85	(15) 項	

4. 工事概要

(1) 工事種目 (●印のものが該当)

	工事種目
●	衛生器具設備
●	給水設備
●	排水設備
●	給湯設備
○	消火設備
○	厨房機器設備
○	ガス設備
●	空調和設備
●	換気設備
○	排煙設備
○	自動制御設備
○	給油設備
●	浄化槽設備
○	付帯電気設備
○	付帯建築工事
●	撤去工事

(2) 設備概要 (施設に当てはまるものに○印) ※改修の場合は改修後の概要を示す

方式及び種別	設 備 概 要
給水方式	直結給水方式 (○ 直圧方式 ・ 増圧方式) 受水槽方式 (・ ポンプ直送方式 ・ 高置水槽方式 ・ 高置受水槽方式)
排水方式	下水道区域 (・ 合流地域 ・ 分流地域 ○ 下水道共用区域外) 汚水と雑排水 (○ 建物内合流 ・ 建物内分流 ・ 併用) 放流先 汚水 (・ 下水道 ○ 浄化槽) 雑排水 (・ 下水道 ○ 浄化槽 ・ 道路側溝)
空調方式 (主要熱源機器等)	・ ボイラー ・ 温水発生器 ・ 冷凍機 ・ 水蓄熱装置 ・ 吸収式冷暖水機 ・ 冷却塔 ・ コージェネレーション装置 ・ チリングユニット (・ 水冷式 ・ 空冷式) ○ ガスヒートポンプエアコン (GHP) ○ 空冷ヒートポンプエアコン (EHPP) ・ F F式温風暖房機 (・ ガス式 ・ 石油式) ・ 床暖房 (・ 温水式 ・ 電気式)
ガス種別	○ 都市ガス ・ 液化石油ガス ガスメーター (○ 貸与品 ・ 買取)
消火設備の種類	・ 屋内消火栓 ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー設備 ・ 連結散水設備 ・ その他 ()
その他	

II 共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載なき事項は、次による。新築、増築及び改修に係る機械設備工事においては、
「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) 令和4年版」(以下「標仕」)
「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) 令和4年版」(以下「改修標仕」)
「国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) 令和4年版」(以下「標準図」)
「新潟市ホームページ掲載 機械設備工事共通図」(以下「機械設備工事共通図」) による。

2. 標仕及び改修標仕に用いられている用語を次のとおり読み替える。
(1) 「契約書」を「工事請負約款(以下「約款」)」に読み替える。
(2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。

3. 次の各号に該当する項目について、標仕の規定を別表に置き換えて適用する。
(1) 第1編 第1章 1. 1. 2 用語の定義の (ア)及び(イ)
(2) " 1. 4. 2 機材の品質等の (1)及び(3)
(3) " 1. 4. 5 機材の検査等の (1)

4. 標仕の次の項目の規定は適用しない。
(1) 第1編 第1章 1. 1. 2 用語の定義の (ト)
(2) " 1. 6. 2 技術検査

<別 表>

号	項 目	置 き 換 え 後 の 共 通 仕 様 の 規 定
	第1編 一般共通事項 第1章 一般事項	
(1)	1. 1. 2 用語の定義	(ア) 「監督員」とは、約款第10条の規定により受注者に通知された者をいう。 (イ) 「工事検査」とは、約款に規定する次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。 ① 工事の完成 (約款第33条第2項) ② 部分払の請求に係る出来形部分または部分払指定工事材料等 (約款第39条第3項) ③ 部分引渡し指定部分に係る工事の完成 (約款第40条) ④ 契約の解除時における出来形部分 (約款第52条第1項)
(2)	1. 4. 2 機材の品質等	(1) 使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。 又、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿 (一般社団法人 公共建築協会編集)」(契約時の最新版)の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とする。 ただし、仮設に使用する機材は新品に限らない。 (3) 使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を監督員に提出する。 ただし、設計図書によりJIS、JAS又は「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」によると指定された機材で、JISマーク、JASマーク又は「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合することを示す認証機関のマークのある機材を使用する場合及びあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(ア)から(イ)のいずれかに該当する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。)は、資料の提出を省略することができる。 (ア) 建築基準法その他に基づく認定品で、マーク等の確認ができる機材 (イ) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿に記載されている機材又は製造所の製品 (特記で標仕及び改修標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。)
(3)	1. 4. 5 機材の検査等	(1) 工事現場に搬入した機材は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合、若しくは次の(ア)または(イ)に該当する場合は、この限りでない。 (ア) しゅん工検査時または工事写真でJIS、JAS及び「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」に適合することを示す認証機関のマークを確認できる場合。 (イ) 建築基準法その他に基づく認定品と指定された材料で、しゅん工検査時または工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合。

III 特記仕様

凡例

(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。特記事項も同様に○印のついたものを適用する。

(2) ○印のない場合は、※印のあるものを適用する。 ○印と(※)印のある場合はともに適用する。

(3) 根拠項目の「aーb. c. d」は標仕の第a編b章c節d項を表す。

章	項 目	特 記 事 項	根 拠 頁																																																							
① 一般事項	① 工事実績情報の登録	別紙特記仕様書による。	1-1. 1. 4																																																							
	2. 電気保安技術者	・ おく ・ おかない	1-1. 3. 2																																																							
	③ 官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工及び完成に当たり、関係法令等に基づく官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。なお、届出内容については、あらかじめ監督員に報告する。	1-1. 1. 3																																																							
	④ 機材の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材は、標仕による。	1-1. 4. 6																																																							
	⑤ 工事写真等	工事完了後に整理の上、監督員に提出する。 竣工写真 1部 工事施工状況写真 1部																																																								
	⑥ 提出図書	工事関係書類提出リストによる。なお、部数は下記によるほか、監督員の指示による。 完成図 (CADデータ) ※撤去図を含む 1部 A3縮小製本 1部 施工図 (CADデータ) 1部 安全に関する資料 1部 機器性能試験成績書 1部 官公署その他の届出書類 1部 原寸図製本 部	1-1. 7. 1 1-1. 7. 2 1-1. 7. 3																																																							
	7. 案内板	機器等の取扱方法及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の案内板を機械室内に設ける。 (大きさの目安は800mm×500mm)																																																								
	⑧ 施工図等の取扱い	当該工事で作成される施工図等の著作権について、受注者は全ての著作権を発注者に譲渡するものとする。また、受注者は著作権者人格権を行使しないものとする。																																																								
② 共通工事 (配管工事等)	① 配管工事 (建物導入部) (非破壊検査) (土間配管)	(1) 標仕による。 (2) 建物導入部配管 ※ 標準図 (・ a ・ b ※ c) ・ 図示による (3) 溶接部の非破壊検査 (適用と検査の種類は下記による。) 油管、低圧蒸気管、冷却水管、冷温水管 ※ 適用しない ・ 適用する (・ RT ・ PT ・ MT) 高圧蒸気管 ・ 適用しない ※ 適用する (・ RT ・ PT ・ MT) 高温水管 ・ 適用しない ※ 適用する (・ RT ・ PT ・ MT) (4) 土間配管の吊金物 土間配管は床配筋より吊金物で支持する。(機械設備工事共通図参照)	2-2. 1. 1 2-2. 4. 1 2-2. 5. 15																																																							
	② 管の埋設	管の地中埋設深さは、原則として下記による。ただし、排水管を除く。 銅管 (※ 300mm ・ 600mm) 樹脂管 (・ 300mm ※ 600mm)	2-2. 7. 2																																																							
	③ 埋設管の表示	○ 地中埋設標 (○ 要 (・ 図示の箇所) ・ 不要) ○ 埋設表示テープ (※ 要 (※ 屋外埋設給水管) ・ 不要)	2-2. 7. 1																																																							
	4. 絶縁継手	※ 設置する。(異種管接続部及び図示の箇所)	2-2. 4. 1																																																							
	⑤ 埋め戻し土・盛土	※ 機械設備工事共通図による。 ・ すべて山砂の類で行う。	2-4. 2. 1																																																							
	⑥ 耐震措置	設備機器の固定は下記に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版(独立行政法人建築研究所監修)」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量(N)に設計用標準水平震度を乗じたものとする。 重要機器、重要水槽とは下記に示すものをいう。 <table><tbody><tr><td>重要機器</td><td></td></tr><tr><td>重要水槽</td><td></td></tr></tbody></table>	重要機器		重要水槽		2-2. 1. 1 3-2. 1. 1 5-2. 2. 1																																																			
重要機器																																																										
重要水槽																																																										
	<表 ー 1>設計用標準水平震度	<table><thead><tr><th rowspan="2">設 置 場 所</th><th colspan="4">耐 震 安 全 性 の 分 類</th></tr><tr><th>○ 特定施設 (○ 甲類 ・ 乙類)</th><th colspan="3">・ 一般の施設 (乙類)</th></tr><tr><th></th><th>重要機器・水槽</th><th>一般機器・水槽</th><th>重要機器・水槽</th><th>一般機器・水槽</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">上層階・屋上及び塔屋</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>(2. 0)</td><td>(2. 0)</td><td>(2. 0)</td><td>(1. 5)</td></tr><tr><td rowspan="2">中 間 階</td><td><2. 0></td><td><1. 5></td><td><1. 5></td><td><1. 0></td></tr><tr><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td rowspan="2">地 下 階 ・ 1 階</td><td>(1. 5)</td><td>(1. 5)</td><td>(1. 5)</td><td>(1. 0)</td></tr><tr><td><1. 5></td><td><1. 0></td><td><1. 0></td><td><0. 6></td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>1. 0</td><td>0. 6</td><td>0. 6</td><td>0. 4</td></tr><tr><td>(1. 0)</td><td>(1. 0)</td><td>(1. 0)</td><td>(0. 6)</td></tr><tr><td></td><td><1. 5></td><td><1. 0></td><td><1. 0></td><td><0. 6></td></tr></tbody></table> (注) 1. () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 2. < > 内の数値は水槽類に適用する。 3. 上層階とは、2～6階建の建物においては最上階、7～9階建の建物においては上層2階、10～12階建の建物においては上層3階、13階建以上の建物においては上層4階のことをいう。	設 置 場 所	耐 震 安 全 性 の 分 類				○ 特定施設 (○ 甲類 ・ 乙類)	・ 一般の施設 (乙類)				重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽	上層階・屋上及び塔屋	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	(2. 0)	(2. 0)	(2. 0)	(1. 5)	中 間 階	<2. 0>	<1. 5>	<1. 5>	<1. 0>	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	地 下 階 ・ 1 階	(1. 5)	(1. 5)	(1. 5)	(1. 0)	<1. 5>	<1. 0>	<1. 0>	<0. 6>		1. 0	0. 6	0. 6	0. 4	(1. 0)	(1. 0)	(1. 0)	(0. 6)		<1. 5>	<1. 0>	<1. 0>	<0. 6>	2-1. 2. 2 2-1. 2. 2 3-2. 1. 1
設 置 場 所	耐 震 安 全 性 の 分 類																																																									
	○ 特定施設 (○ 甲類 ・ 乙類)	・ 一般の施設 (乙類)																																																								
	重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽																																																						
上層階・屋上及び塔屋	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0																																																						
	(2. 0)	(2. 0)	(2. 0)	(1. 5)																																																						
中 間 階	<2. 0>	<1. 5>	<1. 5>	<1. 0>																																																						
	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																						
地 下 階 ・ 1 階	(1. 5)	(1. 5)	(1. 5)	(1. 0)																																																						
	<1. 5>	<1. 0>	<1. 0>	<0. 6>																																																						
	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4																																																						
	(1. 0)	(1. 0)	(1. 0)	(0. 6)																																																						
	<1. 5>	<1. 0>	<1. 0>	<0. 6>																																																						
	7. 制御及び操作盤	標仕第2編1. 2. 2. 1項を適用し、表2. 1. 6、表2. 1. 7、表2. 1. 8による。 追加する接点及び端子は機器表による。	2-1. 2. 2																																																							
	8. インバーター用制御及び操作盤	標仕第2編1. 2. 2. 2項を適用する。	2-1. 2. 2																																																							
	⑨ 防振基礎	下記の機器は防振基礎とする。 機器 (GHP-1, GHP-2) 防振材の種類及び振動絶縁効率 ・ ゴム ・ スプリング (効率 ※ 80%以上 ・ %以上))	2-1. 2. 2																																																							

③ 共通工事 (関連工事等)

① 足場・作業構台等

② 監督員事務所等

3. 監督員用備品等

④ 工事名称表示板

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

⑦ 仮設建物等

⑧ 残土処理

⑨ 地業工事

⑩ 鉄筋工事

⑪ コンクリート工事

⑫ 電動機

⑬ 容量等の表示

⑭ 電源周波数

⑮ 電線類

⑯ 別途工事との取合い

⑰ 機器の仕様

⑱ 運転調整

※ 関連工事の関係者が設置したものは無償で使用できる。
・ 本工事で設置する。
※ 設けない。
・ 設ける。(仮設事務所の中に監督員用スペースを m程度確保する。)
監督員用備品として下記のものを工事期間中に常備する。
・ 保護帽子 ケ
・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 墜落制止用器具 組
※ 設ける。 ・ 設けない。
構内既存の施設 ※ 利用できる。(※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない。
構内既存の施設 ※ 利用できる。(※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない。
現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置は、あらかじめ監督員の承諾を受け、すべて受注者の負担とする。
※ 構内指示の場所に敷出し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外搬出適切処理
砂利地業 砂利種別 (※ 再生クラッシャーラン ・ 切込砂利 ・ 切込碎石)
※ 異形鉄筋 (※ A種 ・ B種) (※ S D 2 9 5 A ・ S D 3 4 5)
・ 丸鋼 (※ A種 ・ B種)
粗骨材 ※ 砂利 ・ 砕石 ・ 砂利と砕石の混合
細骨材 ※ 洗砂
普通コンクリート ※ レディーミクストコンクリート (※ I類 ・ II類)
設計基準強度 (N/mm²) スランプ 1 5 c m又は 1 8 c m
1 8 施工箇所 ()
2 1 施工箇所 (浄化槽スラブ・ベース・補強柱)
2 4 施工箇所 ()
2 7 施工箇所 ()
強度試験 ※ 省略する ・ 実施する ()
機器は標仕第2編1. 2. 1項を適用する。
(1) 機器類の能力、容量は表示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は原則として表示された数値以下とする。
(3) 参考図の寸法は概略寸法とする。
※ 5 0 H z
電線及びケーブルの規格は、標仕第4編1. 5. 1表4. 1. 11による。
既存コンクリート床、壁等の配管貫通の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。
スリーブ、箱入れなどの別途工事との取合いは、別紙「工事区分表」によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに必要な大きさ、位置などを関係者と調整する。
各機器の仕様は (・ 国土交通省 ○ メーカー標準 ・) とする。
○ 水量調整 ○ 風量調整 ○ 室内外空気の温湿度測定
・ 室内気流及び塵埃の測定 ○ 騒音の測定 ○ 初期運転状態の記録 ・ 水質検査

④ 保温・塗装及び防錆工事

① 保温

標仕第2編3. 1. 4項、3. 1. 5項によるほか下記による。
屋外露出配管の保温仕様

材料及施工順序	保温厚さ (mm)	施工範囲
ポリスチレンフォーム	1 5 A ~ 2 5 A 5 0 mm	※ 給水管
1. 保温筒		・ 排水管
2. 粘着テープ*	3 2 A ~ 2 0 0 A 4 0 mm	
3. ポリエチレンフィルム		
4. ステンレス鋼板		

材料及施工順序	保温厚さ (mm)	施工範囲
ロックウール	1 5 A ~ 2 5 A 5 0 mm	・ 給水管 ・ 冷温水管
1. 保温筒		・ 排水管 ・ 冷水管
2. 鉄線	3 2 A ~ 2 0 0 A 4 0 mm	
3. ポリエチレンフィルム		
4. ステンレス鋼板		※ 給湯管 ・ 膨張管

・ 受水槽ポンプ室内の給水管の保温主材はポリスチレンフォームとする。
・ 給食室内の給水管及び給湯管の露出保温は硬質ウレタンフォームとする。
・ 屋内土間配管の給水及び給湯管の保温は防食テープ+高発泡ポリエチレンとする。
・ ビット内の給湯管保温は硬質ウレタンフォームとする。
○ 壁内の給水管保温は (※ グラスウール ・ 高発泡ポリエチレン) とする。
・ 壁内の給湯管保温は (※ グラスウール ・ 高発泡ポリエチレン) とする。
・ 鋼板製タンクの保温 (・ 要 ・ 不要) ・ 屋内 ・ 屋外 ・ 名称 ()
・ 屋内給排水弁の保温主材は (・ ポリスチレンフォーム ※ グラスウール ・ ロックウール) とする。(6 5 A以上)
・ 建物内の空気抜き管の保温は標仕第2編3. 1. 5の給湯管の項による。
○ ヒートポンプエアコンのドレン管の保温は標仕第2編3. 1. 5の排水及び通気管の項による。
・ 共同溝の保温 ()
○ 冷媒管保温化粧ケースの材質、使用箇所は下記による。
室外機接続部 (○ 樹脂製 ・ SUS鋼板製 ・ 高耐食鋼板製)
屋外露出部 (○ 樹脂製 ・ SUS鋼板製 ・ 高耐食鋼板製)
屋内露出部 (○ 樹脂製 ・ SUS鋼板製 ・ 高耐食鋼板製)

下記のダクトは標仕第2編表2. 3. 2により保温を行う。

ダクト	保 温 の 適 用	厚 さ	範 囲
外気 (OA)	※ 要 ・ 不要		※ 全て
給気 (SA)	※ 要 ・ 不要		※ 全て
還気 (RA)	・ 要 ※ 不要		※ 全て
排気 (EA)	※ 要 ・ 不要		※ 外壁から1m

標仕第2編表2. 3. 2による。

区 分	消 温 種 別	適 用
サブライチャンバー	M, (イ) or (ロ), IX	※ する ・ しない
消音チャンバー・消音エルボ	L, (イ) or (ロ), VII	※ する ・ しない
レタンチャンバー	L, (イ) or (ロ), VII	・ する ※ しない
吹出口ボックス	L, (イ) or (ロ), VII	※ する ・ しない
吸込口ボックス	L, (イ) or (ロ), VII	・ する ※ しない

下記の配管は塗装を行う。
・ 機械室 ・ ポンプ室 ・ 屋外露出 (・ ドレン管・排水管)

屋内部分 ※ 塗装 ・ 溶融亜鉛めっき (2種35)
屋外部分 ※ 溶融亜鉛めっき (※ 2種35 ・ 2種50) ・ ステンレス製

地中埋設鋼管類の防食措置は標仕第2編2. 7. 3による。
・ ベトロラム系 ※ プチルゴム系
下記の部分の防食材はプラスチックテープ1／2重ね1回巻とする。
※ コンクリート内及び貫通部 ※ 鋼管支持部 (機械設備工事共通図参照)

以下に示す箇所の支持金物はステンレス製とする。
(※ 屋外 ※ 多湿部 ※ ビット内 ※ 土間配管支持部 ・ その他 ())

一級建築士事務所
株式会社 基設計

管理建築士 一級建築士登録第145215号 櫻井 祥夫
代表設計者 一級建築士登録第329055号 小屋 公治

新潟市建築部公共建築課

巻斎場建設機械設備工事

工 事 名

図 名
機械設備工事特記仕様書(1)

年 月 日 2025. 03 縮 尺 No Scale 図面番号 M-01

2023年1月改訂

⑤給水設備

1. 給水ポンプユニット
2. 水道用直結加圧形ポンプユニット
3. タンク

④ 量水器・量水器柵
⑤ 弁
6. 防振継手
7. フレキシブルジョイント
8. 弁きょう
⑨ 弁 柵

(1)制御方式
(2)運転方式

インバーター制御（※ 末端圧力推定制御 ・ 吐出し圧力一定制御）
並列交互運転（ 2 4 時間強制ローテーション機能 ・ あり ・ なし ）

(1)運転方式
(2)逆流防止装置（※ 吸込側 ・ 吐出側）

(1)受水タンク 材質は下記による。
・ F R P 製（ ・ パネル形 ・ 一体形 ）（※ 複合板（天井部 ※複合板 ・ 単板 ） ・ 単板 ）
・ 銅板製一体形 保温（※ あり ・ なし）
形状及び寸法（ ・ 標準図による ・ 図示による ）
・ ステンレス銅板製パネル（ ・ ボルト組立形 ※ 溶接組立形 ）保温（※ あり ・ なし）
形状及び寸法（ ・ 標準図による ・ 図示による ）
非常時用水栓（※ 設ける ・ 設けない）
緊急遮断弁（※ 設ける（ ・ 電気式 ※ 機械式 ） ・ 設けない）

※ 水道事業者の仕様による。

水道事業者の規定による他、標仕第2編表2. 2. 1 0による。

・ ベローズ形
・ 合成ゴム製

・ ベローズ形（水用）
F R P 製タンクの各接続管には、合成ゴム製のフレキシブルジョイントを使用する。

※ 水道事業者指定品

※ 機械設備工事共通図による。 ・ 水道事業者の仕様による。

⑥排水設備

① 衛生器具等の排水管
2. 満水試験継手
③ 試験

洗面器及び手洗器に直結する排水管寸法は器具トラップより1サイズアップとする。
既製流し台などの床上露出部の配管は硬質ポリ塩化ビニル管（V P ）とする。

・ 図示の箇所に取付ける。 ・ 3 階以上にわたる排水管には、各階ごとに取付ける。

・ 満水試験 ※ 通水試験 ・ 煙試験

⑦空気調和設備

① 設計温湿度条件
2. ファンコイルユニット通りの弁
③ ダクト
④ ダクトの工法
⑤ 風量測定口
⑥ チャンパー
⑦ 風量調節ダンパー ・ モーターダンパー
8. 弁
9. 伸縮管継手
10. 防振継手
11. フレキシブルジョイント
12. 計器類

区 分	外 気		室 内					
			一 般		系 統		系 統	
	乾球温度	相対湿度	乾球温度	相対湿度	乾球温度	相対湿度	乾球温度	相対湿度
夏 期	33. 6℃	57. 4%	26. 0℃	—				
冬 期	-1. 2℃	76. 8%	22. 0℃	—				

・ 流量調整弁 ・ 定流量弁

※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト

※ コーナーボルト工法（長辺が1, 5 0 0 mm以下）
（※ 共板フランジ工法 ・ スライドオンフランジ工法 ）
※ アングルフランジ工法（長辺が1, 5 0 0 mmを超えるもの）

取付け箇所は下記による。
・ 図示の位置 ・ 外気取入れダクト ・ 風機吐ダクト又は吸込ダクト
・ 空気調和機サブライチャンパーの分岐ダクト
取付け個数は標仕第3編表3. 2. 6による。

(1) 内貼を施すチャンパーの表示寸法は外寸を示す。
(2) 空気調和機に取付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音内貼したチャンパーには点検口を設ける。点検口の大きさは図示による。
(3) 外気に面するガラリに直接取付けるチャンパー等は雨水の滞留のないように施工する。

下記の使用区分のダンパーは耐塩害仕様とする。
使用区分（※ O Aダクト ・ E Aダクト ・ S Aダクト ・ R Aダクト ）
耐塩害仕様（軸：ステンレス棒鋼 軸受：テフロンベアリング）

J I S又はJ V（※ 0. 9 8 M P a ・ 0. 4 9 M P a（図示部分））

※ ベローズ形（鋼管用） ・ スリーブ形（鋼管用）

・ ベローズ形
・ 合成ゴム製

・ ベローズ形（ ・ 水用 ・ 油用 ） ・ 合成ゴム製（水用）

下表による。

機 器 名	部 位	計 器			備 考
		温 度 計	圧 力 計	瞬 間 流 量 計	
冷凍機	冷水配管及び冷却水配管（出入口側）	※	※		
	冷水配管及び冷却水配管（出口側）			※	※ 固定型 ・ 着脱型
吸収冷温水器	冷温水配管及び冷却水配管（出入口側）	※	※		
	冷温水配管及び冷却水配管（出口側）			※	※ 固定型 ・ 着脱型
温水発生機	温水配管（出入口側）	※	※		
	温水配管（出入口側）			※	※ 固定型 ・ 着脱型
空気調和機	冷温水配管（出入口側）	※	※		
	冷温水配管（出口又は入口側）				
冷温水ヘッダー	各住及び各遠配管	※	※		
空気調和機（ハ ッ ケージ 系を含む）	サブライチャンパー、レタンチャンパー、ダクト及び外気取入ダクト	※			

バイメタル式温度計とし、目盛板外径は1 0 0 mmとする。（ボイラー、貯湯タンクを除く。）
圧力計は標仕第2編2. 3. 1による。（目盛板外径は1 0 0 mm、コック・赤針付とする）
瞬間流量計はビトー管方式によるもので止水コック付とする。なお、着脱型の指示部は下記を標準とする。
・ 2 0 A ~ 4 0 A 用 個 ・ 5 0 A ~ 1 0 0 A 用 個 ・ 1 2 5 A ~ 2 5 0 A 用 個

⑧追加特記事項

① 機器等の耐震処置
② ステンレス鋼鋼管使用時の弁類仕様
3. フロン類の処理
4. 既存配管
5. 再使用品
6. 外部足場
⑦ ドレンポンプ試験
⑧ 集中コントローラーによる運転
9. 鉄筋探査
10. ガス設備工事
⑩ アスベスト対応
12. 排煙風量測定
⑬ その他

機械設備工事共通図（その3）による。
5 0 S U S 以下 ※ 青銅仕切弁 1 0 K
※ 青銅ボール弁 1 0 K
※ 青銅逆止弁（スイング） 1 0 K
※ Y 形ストレーナ 1 0 K
6 0 S U S 以上 ※ ステンレス鋼バタフライ弁（ウエハー） 1 0 K
※ ステンレス鋼逆止弁（スイング） 1 0 K
※ ステンレス鋼Y形ストレーナ 1 0 K
撤去機器の冷媒はフロン類が使用されている場合は、家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）及びフロン排出抑制法（フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律）に基づき、適正に処理する。
継続使用する下記の既存配管について、施工前に健全性を確認する。
・ 給水（ O O 系統 ） ・ 消火 ・ ガス ・ 油 ・ その他（ ）
取外しを行い再使用する機材の下記の確認は、監督員と協議する。
※ 取外し前の機材の状況及び性能・機能 ※ 取外し後の機材の分解・整備等による特別な清掃
・ 枠組足場 ※ くさび緊結式足場 ・ その他（ ）
足場は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」（厚生労働省労働基準局長 基発第0424001号 平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柵及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
ドレンポンプを有する機器については、ドレンポンプの動作試験およびドレン配管の通水試験を行う。
試験内容については、施工計画書に明示する。
（ドレンポンプには、ドレンアップメカも含む。）
既存を含む全数について、集中コントローラーによる機器の運転状態を確認し、記録する。
・ F F 式温風暖房機 ㊟ ガスヒートポンプエアコン ㊟ その他（ 全熱交換型換気扇 ）
電磁波レーダー法とし、探査結果を提出する。
都市ガス設備工事は、ガス事業者が承諾した承諾工事人に施工させることができる。
大気汚染防止法及び石綿障害予防規則に基づき、適切に対応すること。
建築設備定期検査業務基準書（一般社団法人 日本建築設備・昇降機センター）に準ずる。
別紙施工条件総括表による。

改修標仕1-I. 4. 3

【給水及び給湯配管】
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 116 SGP-VB ○
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 116 SGP-VD ○
水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 140 SGP-HVA ○
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 JWWA K 132 SGP-PB ○
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 JWWA K 132 SGP-PD ○
一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ● ○ ●
水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742 VPX又はHIVP ○ ○
水道用ポリエチレン二層管 JIS K 6762 ●
水道配水用ポリエチレン管 JWWA K 144 PTC K 03 PWA 001 HPPE ○
架橋ポリエチレン管 JIS K 6769 ○ ○
水道用架橋ポリエチレン管 JIS K 6787 ○
ポリブテン管 JIS K 6778 ○ ○
【排水及び通気配管】
配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452 白管 ○ ○
硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VP ● ● ●
硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VU φ 65以上 ●
耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6776 HTVP ○ ○ ○
排水・通気用耐火二層管 ○ ○
結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管 ●
【消火配管】
配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452 白管 ○ ○
圧力配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454 STPG 370 白管Sch40 ○
消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 WSP 041 SGP-VS ○
消火用ポリエチレン管 HPPE ○
【ガス及び油配管】
配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452 白管 ○（ガスのみ）
ポリエチレン被覆鋼管 JIS G 3469 PLS ○
ポリエチレン被覆鋼管 JIS G 3469 PLP ○ ○
ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774 PE ○（ガスのみ）
配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452 黒管 ○（油のみ）
【冷媒配管】
断熱材被覆鋼管 JODA 0009 ●
【冷温水及び冷却水配管】
配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452 白管 ○ ○
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWWA K 116 SGP-VA ○
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 JWWA K 132 SGP-PA ○
一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ○ ○
【蒸気配管】
配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3452 黒管 ○ ○
圧力配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454 STPG 370 黒管Sch40 黒管Sch80 ○ ○
一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 ○
●印及び■印を適用する。
（※1）PTC K 03、PWA 001及びPWA 005を使用する場合、材質はPE100とする。

⑨機械設備工事共通図

⑩ 図名

⑪ 図面番号

⑨給水設備

⑩ 排水設備

⑪ 空気調和設備

⑫ 図名

⑬ 図面番号

⑫ 図名

⑬ 図面番号

⑭ 図面番号

⑮ 図面番号

⑯ 図面番号

⑰ 図面番号

⑱ 図面番号

⑲ 図面番号

⑳ 図面番号

㉑ 図面番号

㉒ 図面番号

㉓ 図面番号

㉔ 図面番号

㉕ 図面番号

㉖ 図面番号

㉗ 図面番号

㉘ 図面番号

㉙ 図面番号

㉚ 図面番号

㉛ 図面番号

㉜ 図面番号

㉝ 図面番号

㉞ 図面番号

㉟ 図面番号

㊱ 図面番号

㊲ 図面番号

㊳ 図面番号

㊴ 図面番号

㊵ 図面番号

㊶ 図面番号

㊷ 図面番号

㊸ 図面番号

㊹ 図面番号

㊺ 図面番号

㊻ 図面番号

㊼ 図面番号

㊽ 図面番号

㊾ 図面番号

㊿ 図面番号

1 図面番号

2 図面番号

3 図面番号

4 図面番号

5 図面番号

6 図面番号

7 図面番号

8 図面番号

9 図面番号

10 図面番号

11 図面番号

12 図面番号

13 図面番号

14 図面番号

15 図面番号

16 図面番号

17 図面番号

18 図面番号

19 図面番号

20 図面番号

21 図面番号

22 図面番号

23 図面番号

24 図面番号

25 図面番号

26 図面番号

27 図面番号

28 図面番号

29 図面番号

30 図面番号

31 図面番号

32 図面番号

33 図面番号

34 図面番号

35 図面番号

36 図面番号

37 図面番号

38 図面番号

39 図面番号

40 図面番号

41 図面番号

42 図面番号

43 図面番号

44 図面番号

45 図面番号

46 図面番号

47 図面番号

48 図面番号

49 図面番号

50 図面番号

51 図面番号

52 図面番号

53 図面番号

54 図面番号

55 図面番号

56 図面番号

57 図面番号

58 図面番号

59 図面番号

60 図面番号

61 図面番号

62 図面番号

63 図面番号

64 図面番号

65 図面番号

66 図面番号

67 図面番号

68 図面番号

69 図面番号

70 図面番号

71 図面番号

72 図面番号

73 図面番号

74 図面番号

75 図面番号

76 図面番号

77 図面番号

78 図面番号

79 図面番号

80 図面番号

81 図面番号

82 図面番号

83 図面番号

84 図面番号

85 図面番号

86 図面番号

87 図面番号

88 図面番号

89 図面番号

90 図面番号

91 図面番号

92 図面番号

93 図面番号

94 図面番号

95 図面番号

96 図面番号

97 図面番号

98 図面番号

99 図面番号

100 図面番号

101 図面番号

102 図面番号

103 図面番号

104 図面番号

105 図面番号

106 図面番号

107 図面番号

108 図面番号

109 図面番号

110 図面番号

111 図面番号

112 図面番号

113 図面番号

114 図面番号

115 図面番号

116 図面番号

117 図面番号

118 図面番号

119 図面番号

120 図面番号

121 図面番号

122 図面番号

123 図面番号

124 図面番号

125 図面番号

126 図面番号

127 図面番号

128 図面番号

129 図面番号

130 図面番号

131 図面番号

132 図面番号

133 図面番号

134 図面番号

135 図面番号

136 図面番号

137 図面番号

138 図面番号

139 図面番号

140 図面番号

141 図面番号

142 図面番号

143 図面番号

144 図面番号

145 図面番号

146 図面番号

147 図面番号

148 図面番号

149 図面番号

150 図面番号

151 図面番号

152 図面番号

153 図面番号

154 図面番号

155 図面番号

156 図面番号

157 図面番号

158 図面番号

159 図面番号

160 図面番号

161 図面番号

162 図面番号

163 図面番号

164 図面番号

165 図面番号

166 図面番号

167 図面番号

168 図面番号

169 図面番号

170 図面番号

171 図面番号

172 図面番号

173 図面番号

174 図面番号

175 図面番号

176 図面番号

177 図面番号

178 図面番号

179 図面番号

180 図面番号

181 図面番号

182 図面番号

183 図面番号

184 図面番号

185 図面番号

186 図面番号

187 図面番号

188 図面番号

189 図面番号

190 図面番号

191 図面番号

192 図面番号

193 図面番号

194 図面番号

195 図面番号

196 図面番号

197 図面番号

198 図面番号

199 図面番号

200 図面番号

201 図面番号

202 図面番号

203 図面番号

204 図面番号

205 図面番号

206 図面番号

207 図面番号

208 図面番号

209 図面番号

210 図面番号

211 図面番号

212 図面番号

213 図面番号

214 図面番号

215 図面番号

216 図面番号

217 図面番号

218 図面番号

219 図面番号

220 図面番号

221 図面番号

222 図面番号

223 図面番号

224 図面番号

225 図面番号

226 図面番号

227 図面番号

228 図面番号

229 図面番号

230 図面番号

231 図面番号

232 図面番号

233 図面番号

234 図面番号

235 図面番号

236 図面番号

237 図面番号

238 図面番号

239 図面番号

240 図面番号

241 図面番号

242 図面番号

243 図面番号

244 図面番号

245 図面番号

246 図面番号

247 図面番号

248 図面番号

249 図面番号

250 図面番号

251 図面番号

252 図面番号

253 図面番号

254 図面番号

255 図面番号

256 図面番号

257 図面番号

258 図面番号

259 図面番号

260 図面番号

261 図面番号

262 図面番号

263 図面番号

264 図面番号

265 図面番号

266 図面番号

267 図面番号

268 図面番号

269 図面番号

270 図面番号

271 図面番号

272 図面番号

273 図面番号

274 図面番号

275 図面番号

276 図面番号

277 図面番号

278 図面番号

279 図面番号

280 図面番号

281 図面番号

282 図面番号

283 図面番号

284 図面番号

285 図面番号

286 図面番号

287 図面番号

288 図面番号

289 図面番号

290 図面番号

291 図面番号

292 図面番号

293 図面番号

294 図面番号

295 図面番号

296 図面番号

297 図面番号

298 図面番号

299 図面番号

300 図面番号

301 図面番号

302 図面番号

303 図面番号

304 図面番号

305 図面番号

306 図面番号

307 図面番号

308 図面番号

309 図面番号

310 図面番号

311 図面番号

312 図面番号

313 図面番号

314 図面番号

315 図面番号

316 図面番号

317 図面番号

318 図面番号

319 図面番号

320 図面番号

321 図面番号

322 図面番号

323 図面番号

324 図面番号

325 図面番号

326 図面番号

327 図面番号

328 図面番号

329 図面番号

330 図面番号

331 図面番号

332 図面番号

333 図面番号

334 図面番号

335 図面番号

336 図面番号

337 図面番号

338 図面番号

339 図面番号

340 図面番号

341 図面番号

342 図面番号

343 図面番号

344 図面番号

345 図面番号

346 図面番号

347 図面番号

348 図面番号

349 図面番号

350 図面番号

351 図面番号

352 図面番号

353 図面番号

354 図面番号

355 図面番号

356 図面番号

357 図面番号

358 図面番号

359 図面番号

360 図面番号

361 図面番号

362 図面番号

363 図面番号

364 図面番号

365 図面番号

366 図面番号

367 図面番号

368 図面番号

369 図面番号

370 図面番号

371 図面番号

372 図面番号

373 図面番号

374 図面番号

375 図面番号

376 図面番号

377 図面番号

378 図面番号

379 図面番号

380 図面番号

381 図面番号

382 図面番号

383 図面番号

384 図面番号

385 図面番号

386 図面番号

387 図面番号

388 図面番号

389 図面番号

390 図面番号

391 図面番号

392 図面番号

393 図面番号

394 図面番号

395 図面番号

396 図面番号

397 図面番号

398 図面番号

399 図面番号

400 図面番号

401 図面番号

402 図面番号

403 図面番号

404 図面番号

405 図面番号

406 図面番号

407 図面番号

408 図面番号

409 図面番号

410 図面番号

411 図面番号

412 図面番号

413 図面番号

414 図面番号

415 図面番号

416 図面番号

417 図面番号

418 図面番号

419 図面番号

420 図面番号

421 図面番号

422 図面番号

423 図面番号

424 図面番号

425 図面番号

426 図面番号

427 図面番号

428 図面番号

429 図面番号

430 図面番号

431 図面番号

432 図面番号

433 図面番号

434 図面番号

435 図面番号

436 図面番号

437 図面番号

438 図面番号

439 図面番号

440 図面番号

441 図面番号

442 図面番号

443 図面番号

444 図面番号

445 図面番号

446 図面番号

447 図面番号

448 図面番号

449 図面番号

450 図面番号

451 図面番号

452 図面番号

453 図面番号

454 図面番号

455 図面番号

456 図面番号

457 図面番号

458 図面番号

459 図面番号

460 図面番号

461 図面番号

462 図面番号

463 図面番号

464 図面番号

465 図面番号

466 図面番号

467 図面番号

468 図面番号

469 図面番号

470 図面番号

471 図面番号

472 図面番号

473 図面番号

474 図面番号

475 図面番号

476 図面番号

477 図面番号

478 図面番号

479 図面番号

480 図面番号

481 図面番号

482 図面番号

483 図面番号

484 図面番号

485 図面番号

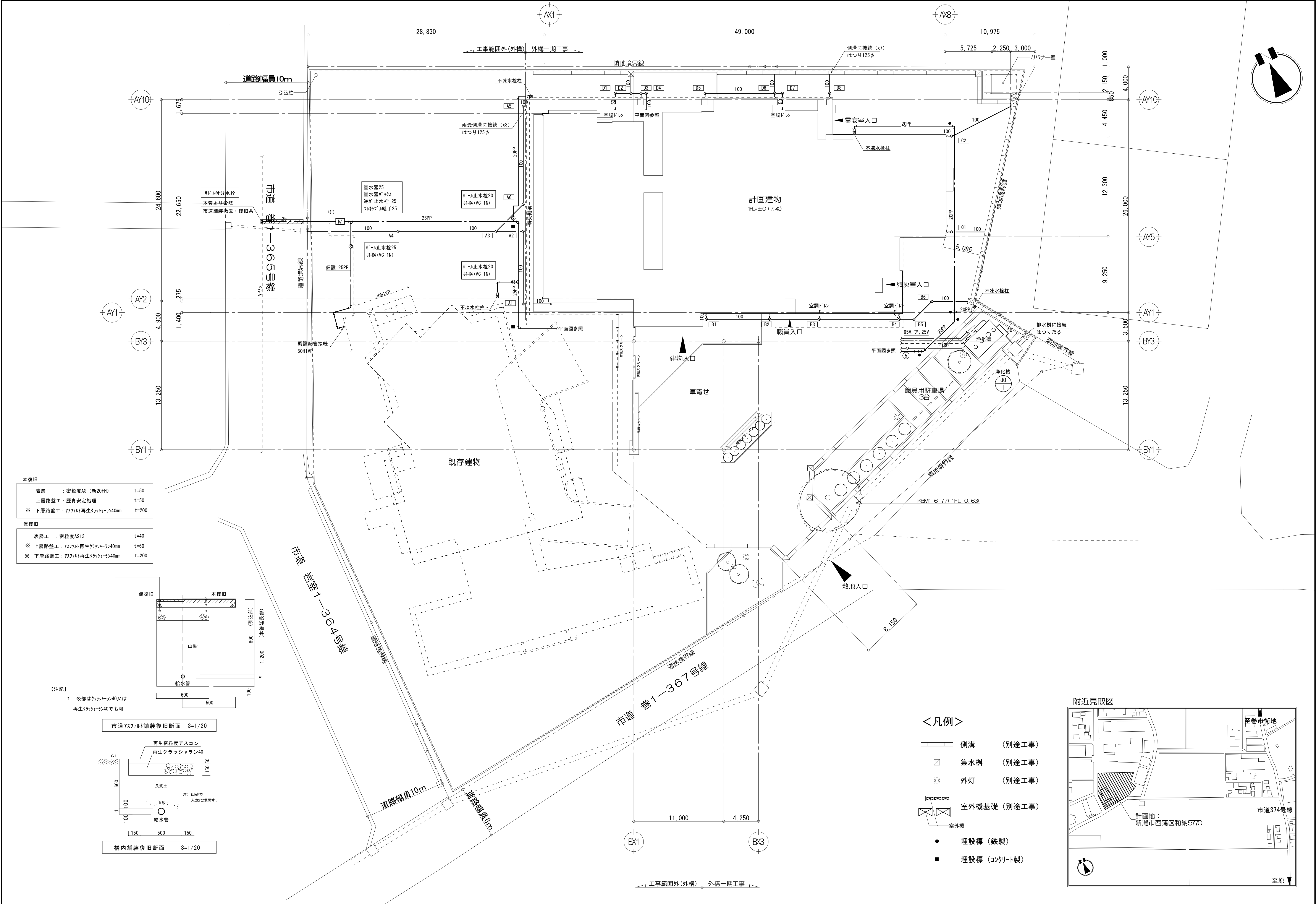
486 図面番号

487 図面番号

488 図面番号

489 図面番号

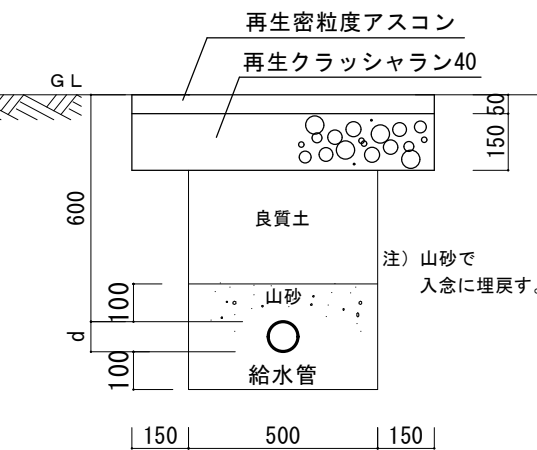
490



本復旧		
表層	: 密粒度AS (新20FH)	t=50
上層路盤工	: 歴青安定処理	t=50
※ 下層路盤工	: 757mm再生クラッシャーラン40mm	t=200
仮復旧		
表層工	: 密粒度AS13	t=40
※ 上層路盤工	: 757mm再生クラッシャーラン40mm	t=60
※ 下層路盤工	: 757mm再生クラッシャーラン40mm	t=200

【注記】
1. ※部はクラッシャーラン40又は再生クラッシャーラン40でも可

市道757mm舗装復旧断面 S=1/20



構内舗装復旧断面 S=1/20

<凡例>

- 側溝 (別途工事)
- 集水樹 (別途工事)
- 外灯 (別途工事)
- 室外機基礎 (別途工事)
- 埋設標 (鉄製)
- 埋設標 (コンクリート製)

附近見取図



衛生機器表

[illegible]

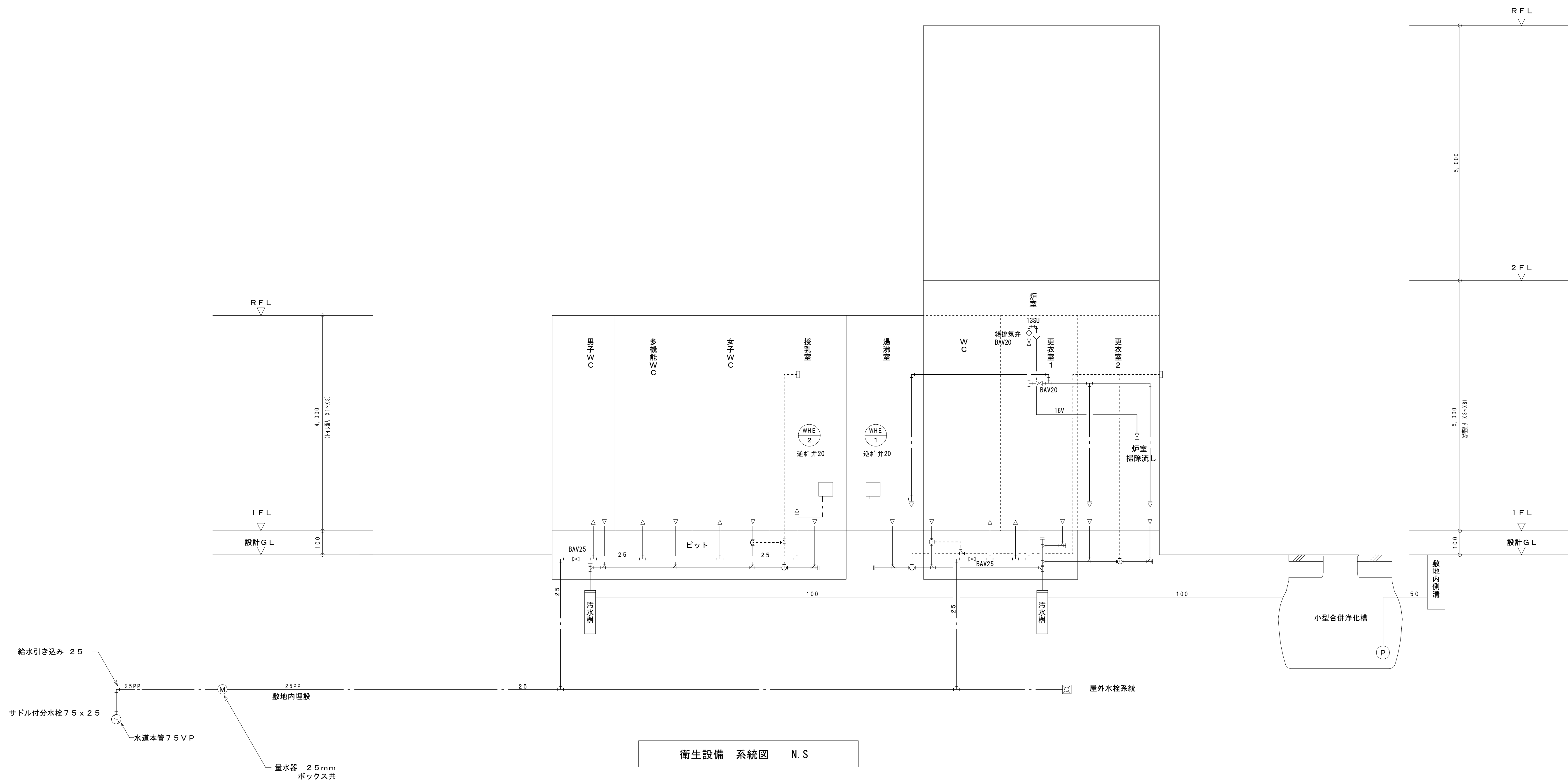
衛生器具表

[illegible]

【注記】・陶器は防汚加工品（セフィオンテクト、アクアセラミック）とする。

・便所の手すり、ベビーチェア等、取付壁面の補強は建築工事とする。

- ・湯沸室及び授乳室の流し台は建築工事とする。



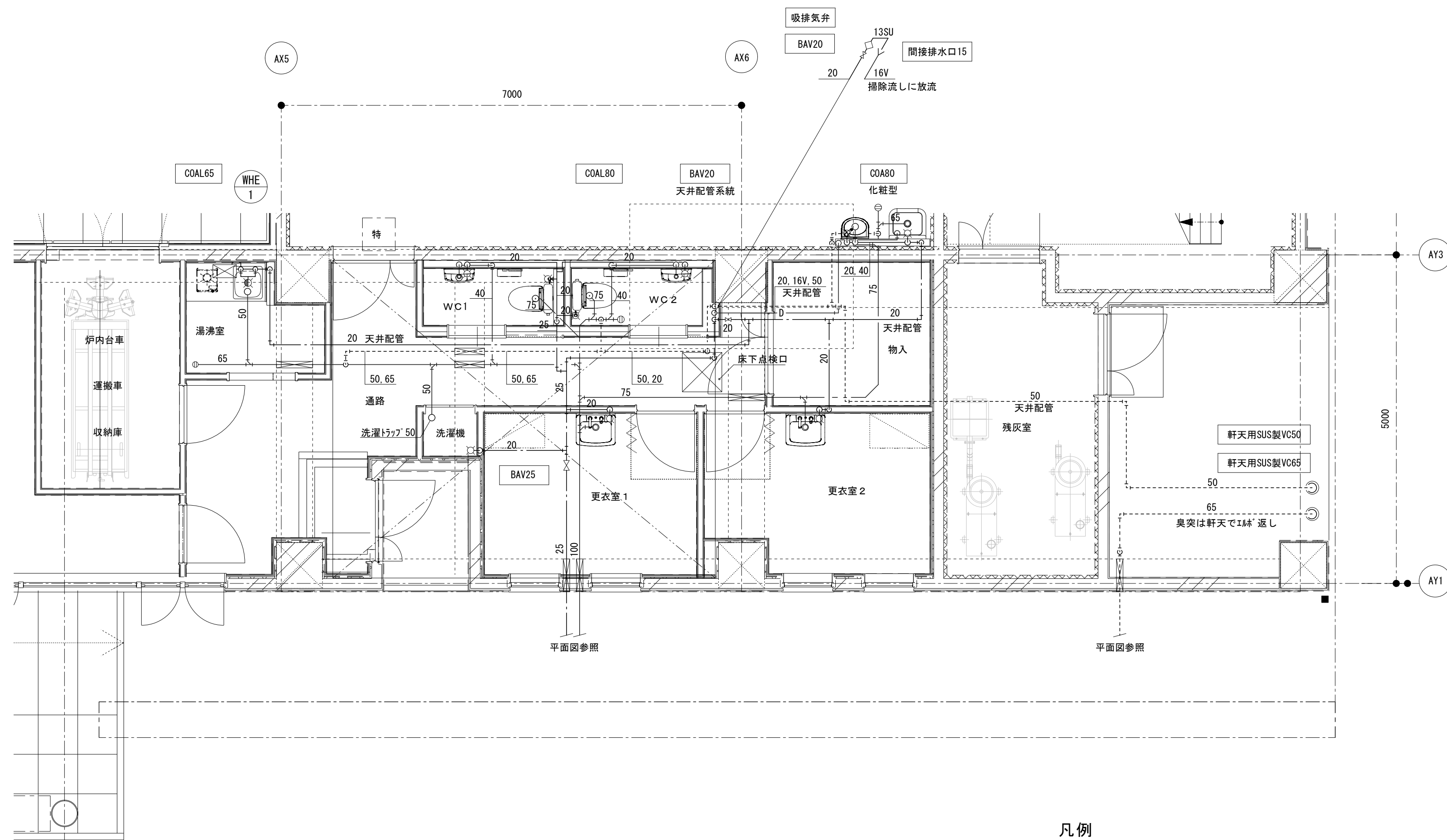
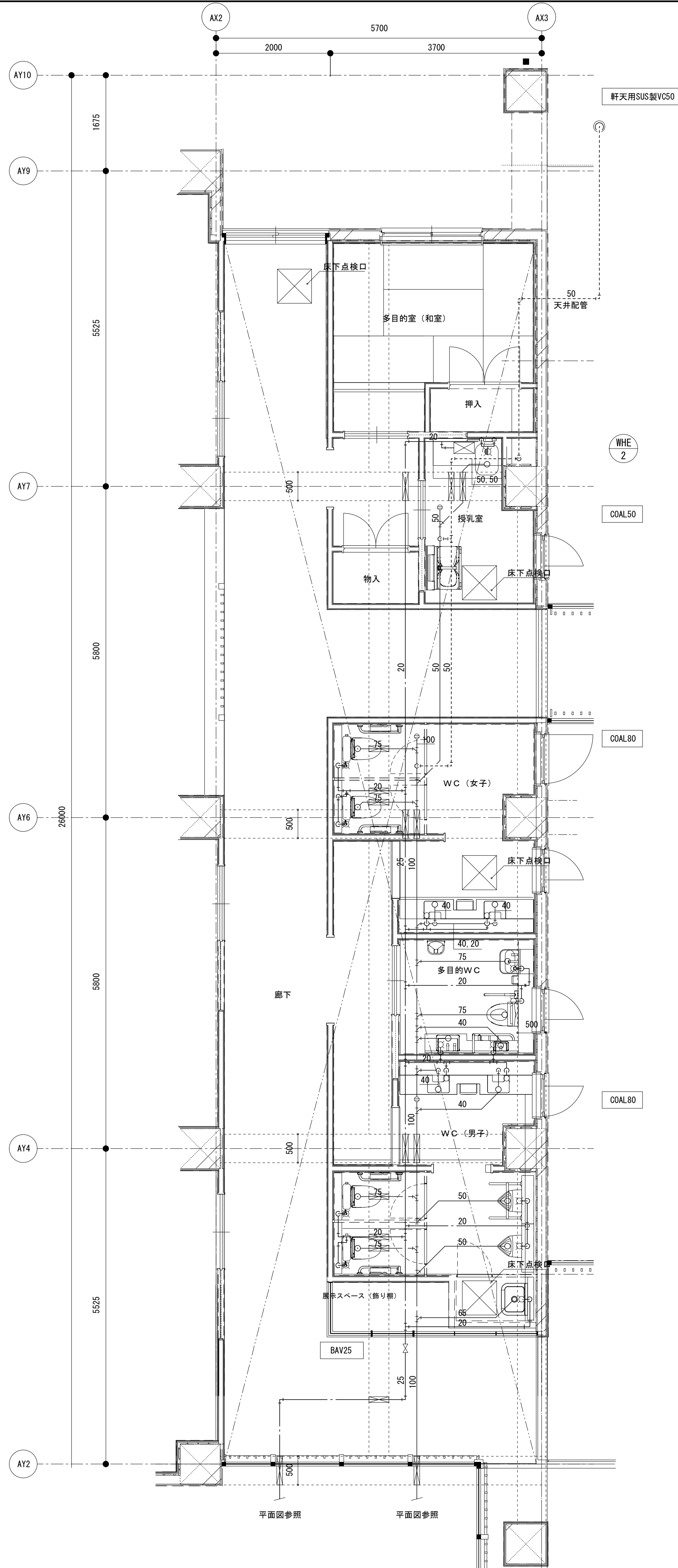


- <凡例>
- 埋設標（鉄製）
 - ア ポンプ付属ケーブル（FEP40）

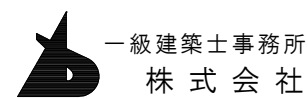
【注 記】

1、防火区画貫通処理部は建築基準法施工令112-20相当とする。
（隙間は、不燃材料充填（モルタル又はロックウール））

2、駐車場内の埋設配管類の土被りは600以上とする。



- 凡例
- : ヒット範囲を示す
 - : 床下点検口600x600
 - : リーフ箇所を示す
- 【注記】
- ・流し台は建築工事とする（本体、据付工事共）



基設計

管理建築士 一級建築士登録第145251号 櫻井 祥夫
代表設計者 一級建築士登録第329055号 小室 公治

新潟市建築部公共建築課

工事名

巻斎場建設機械設備工事

図名

衛生設備 1階詳細図

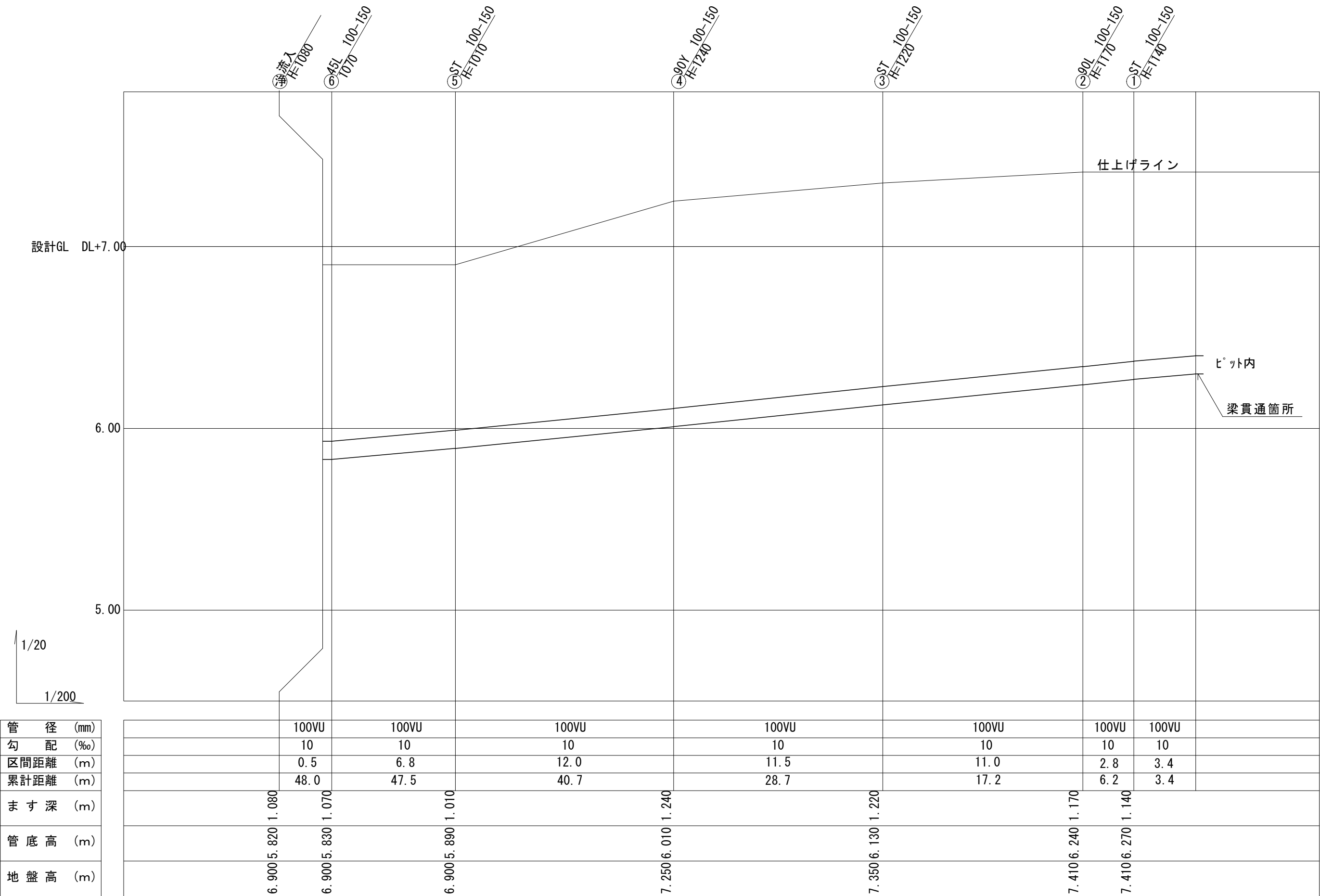
年月日 2025.03 縮尺 A1 1:50 A3 1:100 図面番号 M-08

汚水樹 一覧表

記 号	樹 名	型 式	樹 深 (m)	地盤高 (m)	管底高 (m)	蓋仕様
1	塩ビ'小口径イン'ート樹	ST 100-150	1.14	7.41	6.27	化粧MH蓋450x450 (15kN)
2	"	90L 100-150	1.17	7.41	6.24	"
3	"	ST 100-150	1.22	7.35	6.13	防護蓋 (T14)
4	"	90Y 100-150	1.24	7.25	6.01	"
5	"	ST 100-150	1.01	6.90	5.89	"
6	"	45L 100-150	1.07	6.90	5.83	塩ビ'蓋
7	"	ST 100-150	1.21	7.25	6.04	防護蓋 (T14)

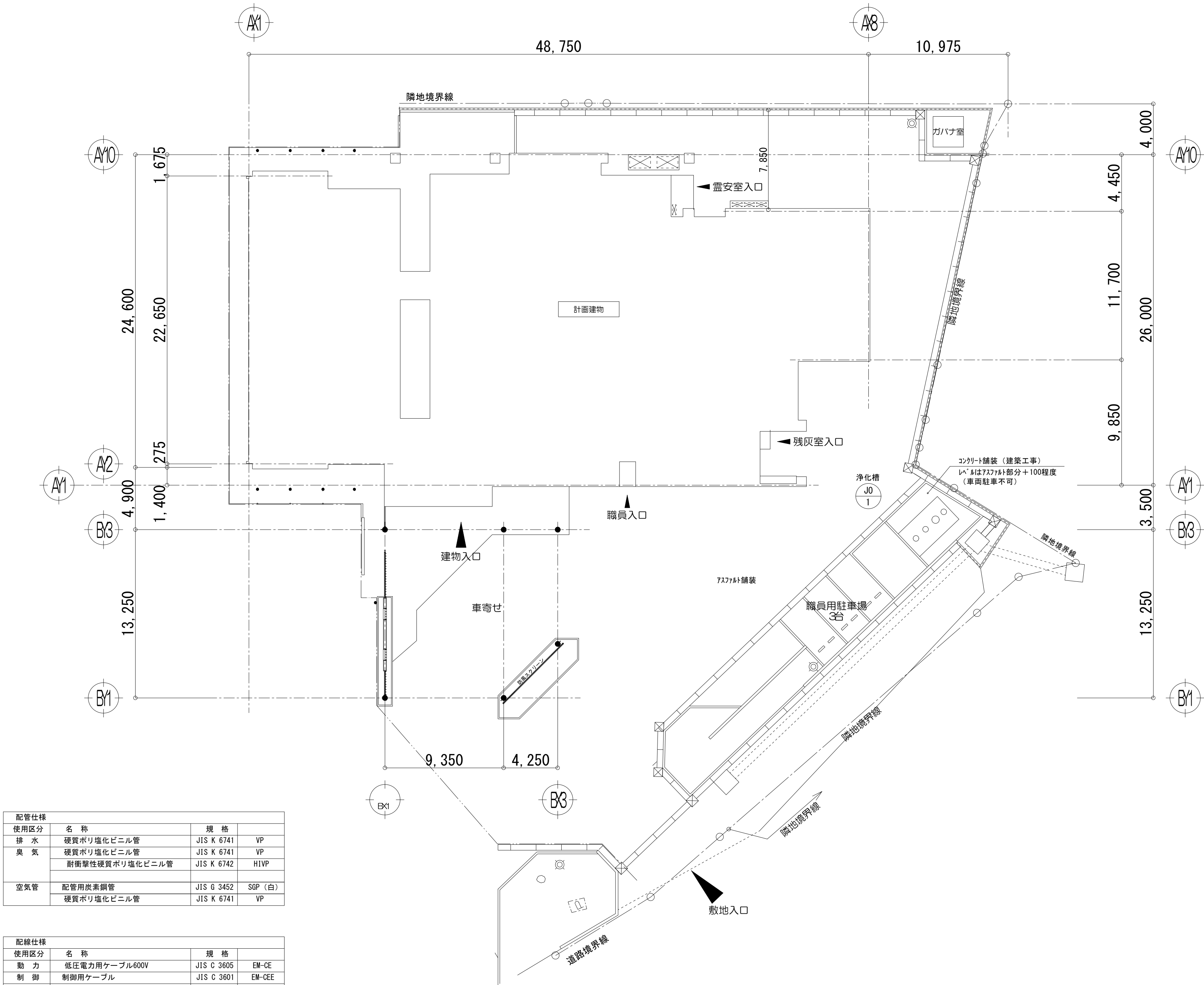
雨水樹 一覧表

記 号	樹 名	型 式	樹 深 (m)	地盤高 (m)	管底高 (m)	蓋仕様
<雨水A系統>						
A 1	塩ビ'小口径イン'ート樹	90L 100-150	0.30	6.90	6.60	塩ビ'蓋
A 2	"	90L 100-150	0.32	6.80	6.48	"
A 3	"	45Y 100-150	0.37	6.80	6.43	"
A 4	"	ST 100-150	0.50	6.80	6.30	"
A 5	"	90L 100-150	0.30	6.90	6.60	"
A 6	"	45L 100-150	0.32	6.80	6.48	"
<雨水B系統>						
B 1	塩ビ'小口径イン'ート樹	90L 100-150	0.80	7.40	6.60	化粧MH蓋450x450 (15kN)
B 2	"	90Y 100-150	0.83	7.35	6.52	防護蓋 (T14)
B 3	"	90Y 100-150	0.79	7.25	6.46	"
B 4	"	90Y 100-150	0.54	6.90	6.36	"
B 5	"	45L 100-150	0.55	6.90	6.35	"
B 6	"	45L 100-150	0.58	6.90	6.32	"
<雨水C系統>						
C 1	塩ビ'小口径イン'ート樹	ST 100-150	0.40	6.74	6.34	防護蓋 (T14)
C 2	"	ST 100-150	0.41	6.85	6.44	"
<雨水D系統>						
D 1	塩ビ'小口径イン'ート樹	UT 100-150	0.30	6.90	6.60	塩ビ'蓋
D 2	"	90Y 100-150	0.40	6.90	6.50	"
D 3	"	90Y 100-150	0.38	6.90	6.52	"
D 4	"	90L 100-150	0.37	6.90	6.53	"
D 5	"	90L 100-150	0.32	6.90	6.58	"
D 6	"	90WLS 100-150	0.40	6.90	6.50	"
D 7	"	UT 100-150	0.30	6.90	6.60	"
D 8	"	ST 100-150	0.40	6.85	6.45	"



雑排水 縦断面図

	浄化槽特記仕様書																																																			
設計要領	本浄化槽は建築基準法施工令第32条、昭和55年建設省告示第1292号、平成7年建設省告示2094号、浄化槽法及び水質汚泥防止法によるほか、特定行政庁の定める取扱要綱等による。																																																			
	① 処理対象人員	(1) 対象用途 (JIS A 3302-2000) 類似用途：集会場 (2) 処理対象人員 (25 人)																																																		
	② 計画汚水量	Q：日平均汚水量 (5.0 m3/日) Q1：時間最大汚水量 (0.08 m3/時) Q1=Q÷24×2.5 Q2：流入時間最大汚水量 (0.52 m3/時) Q2=Q÷T×1.5 T：対象建築物排水時間 (8 時間) <table><tr><td>汚水量</td><td>m3/日</td><td>m3/時</td><td>m3/分</td></tr><tr><td></td><td>5.0</td><td>0.20</td><td>0.003</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			汚水量	m3/日	m3/時	m3/分		5.0	0.20	0.003																																								
	汚水量	m3/日	m3/時	m3/分																																																
		5.0	0.20	0.003																																																
	③ 流入水水质	BOD濃度 (200) ppm																																																		
	④ 放流水水质	BOD濃度 (20) ppm以下 BOD除去率 (90) %以上 T-N濃度 () ppm以下			8-1.1.1																																															
	⑤ 処理種別	建設省告示第1292号 第(6)号と同等以上の性能を有するものとし、以下による ○ 接触ろ床方式 ○ 嫌気分層接触ろ床方式 ○ 担体流動循環方式 ○ 分層嫌気ろ床担体流動方式			8-1.1.1																																															
⑥ 形式	・ 現場施工型 ○ ユニット型 (FRP製 国土交通大臣型式適合認定品)			8-1.1.1																																																
⑦ 形状	○ 地下式 ・ 半地下式 ・ 機械室平屋建																																																			
⑧ 敷地条件等	(1) 敷地及び配置 別図のとおり (2) 流入管 (DL - 1080 mm) (口径 100 mm) (3) 放流先 別図のとおり (4) 槽上部の利用 ・ あり (駐車場) ○ なし																																																			
⑨ 承認等	工事に先立ち、関係法規、本工事仕様書及び製造者仕様書に基づいて下記の承認図等を作成し、監督員に提出し承認を受ける。 (1) 製造者仕様書、機器表、処理フロー図 (2) 機械設備図 (浄化槽、機械室設備配管図及び同詳細図) (3) 槽体設計図 (槽体、機械室平面図、立面図、各部詳細図及び配筋図) (4) 電気設備図 (電気配線図、制御盤結線図及び制御盤要図) (5) 計算書類 (槽体容量計算書、機器設計計算書、構造計算書、騒音計算書及び必要に応じて土留矢板構造計算書、杭計算書) (6) 工事費内訳書 (上記(1)～(5)までの各項目に基づいた工事費内訳明細書) (7) 維持管理の年間所要経費概算書 (8) その他監督員が必要と認め、指示したもの																																																			
10 流入ポンプ槽	原則として、自然勾配で処理できるように計画する。やむを得ず流入ポンプ槽を設置する場合は、荒目スクリーン及びばっ気装置を設ける。																																																			
⑪ 流入・放流ポンプ等	(1) ポンプはメンテナンス時に、着脱できる構造とする。 (2) 流入ポンプ及び放流ポンプにはそれぞれ予備を設け、自動交互運転を行う。 計量ポンプ等のポンプが必要となる場合は上記に準ずる。																																																			
⑫ 送風機	(1) ばっ気用 ・ ルーツ形 ・ ロータリー形 ・ 水中形 (2) ばっ気槽用送風機には予備を設け、タイマーによる自動交互運転を行う。			8-2.1.5																																																
⑬ 消泡装置	・ ノズル式 ・ 消泡剤式			8-2.1.12																																																
⑭ 消毒装置	※ 固形塩素剤減菌器			8-2.1.15																																																
⑮ 制御盤等	(1) 漏電、過負荷及び高水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける。 (2) 電力盤には停電時の自動復帰装置、機器故障警報ブザー及び一括警報遠隔ブザー用端子を設ける。			8-2.1.16																																																
⑯ マンホール等	(1) 開口蓋は、PPまたはFRP (500K) とする。 (2) 槽の開口部はチェッカープレート、マンホール等で覆い、施設又はボルト固定できるものとする。			8-2.1.28																																																
⑰ 配管材料	別表 配管使用表による。																																																			
⑱ 弁類	青銅製、鍛鉄製 (※ JIS規格品 ・ 製造者標準品)																																																			
⑲ 支持金物等	ステンレス製、合成樹脂製 (※ 製造者標準品) 屋外 ※ SUS304 ※ SS400 屋内 ○ SUS304 ※ SS400 (塗装) (機器付属品は除く。)																																																			
⑳ その他	(1) 主要構造部は据付条件における土圧、水圧荷重及び地震等に対応する強度を有するものであり、点検及び清掃が容易な構造とする。 (2) ユニット形の槽本体に (○) 保護躯体 (3) 埋め戻し土は、掘削土の良質土を使用し、ユニット本体に鋭角な砕石などが当たらないようにする。 (4) 残土は場外搬出処理とする。 (5) 臭気発生装置における掘削及び埋め戻し工事は、本工事とする。 (6) 一般事項、共通工事等その他記載なき事項は衛生設備工事仕様書によるものとし、電気設備に関する事項については、公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) 令和4年版によるものとする。																																																			
施工要領	① 施工範囲等	・ 現場施工型のコンクリート躯体工事は (※ 本工事 ・ 別途工事) ○ ユニット型の電板及び上スラブ工事は (※ 本工事 ・ 別途工事) ・ 送風機室 (・ 本工事 ※ 別途工事) ・ 山留工事 (※ 本工事 ・ 別途工事) ・ 矢板工法 (・ 圧入 ※ 打撃) ・ 杭工事 (・ 本工事 ※ 別途工事) ○ 水替工事 (※ 本工事 ・ 別途工事) ○ 制御盤 (※ 本工事 ・ 別途工事) ○ 一括故障表示用無電圧接点及び端子 (※ 設ける ・ 設けない) ○ 潜函掘削工事 (※「かつみ」-ト布設) (○ 本工事 ※ 別途工事)																																																		
	② 試運転調整	工事完了後引渡しまで、水負荷運転による試運転調整を実施し、その費用 (光熱費) を負担する。また、使用開始後3ヶ月間を試運転調整期間とし、実負荷運転による調整を実施し、安定運転の後の水質試験の結果報告まで維持管理を行い、その費用を (光熱費を除く) を負担する。			8-2.2.2																																															
	③ 備品	構仕による他、下記の備品を本工事に含む。 管理備品 ○ マンホールフック 1組																																																		
	④ 工事区分	本工事の施工範囲は、下表の●印でしめす。 工事区分表 <table><tr><th>項</th><th>目</th><th>建</th><th>電</th><th>空</th><th>浄</th></tr><tr><td>躯体工事 (杭頭処理 ・ 含む</td><td>・ 除く)</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>構内仮設道路 (ただし、図示した場合は除く)</td><td></td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>構内面の整地 (ただし、図示した場合は除く)</td><td></td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>●</td></tr><tr><td>土留矢板工事 (打込み、引抜き等)</td><td></td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>●</td></tr><tr><td>潜函掘削工事 (※「かつみ」-ト布設)</td><td></td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>●</td></tr><tr><td>制御盤への電源供給配管配線 (接地工事を含む)</td><td></td><td>●</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>制御盤以降の2次側配管配線 (接地工事を含む)</td><td></td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>●</td></tr></table>			項	目	建	電	空	浄	躯体工事 (杭頭処理 ・ 含む	・ 除く)	—	—	—	—	構内仮設道路 (ただし、図示した場合は除く)		—	—	—	—	構内面の整地 (ただし、図示した場合は除く)		—	—	—	●	土留矢板工事 (打込み、引抜き等)		—	—	—	●	潜函掘削工事 (※「かつみ」-ト布設)		—	—	—	●	制御盤への電源供給配管配線 (接地工事を含む)		●	—	—	—	制御盤以降の2次側配管配線 (接地工事を含む)		—	—	—	●
項	目	建	電	空	浄																																															
躯体工事 (杭頭処理 ・ 含む	・ 除く)	—	—	—	—																																															
構内仮設道路 (ただし、図示した場合は除く)		—	—	—	—																																															
構内面の整地 (ただし、図示した場合は除く)		—	—	—	●																																															
土留矢板工事 (打込み、引抜き等)		—	—	—	●																																															
潜函掘削工事 (※「かつみ」-ト布設)		—	—	—	●																																															
制御盤への電源供給配管配線 (接地工事を含む)		●	—	—	—																																															
制御盤以降の2次側配管配線 (接地工事を含む)		—	—	—	●																																															
⑤ 電気設備の試験	機材及び施工の試験については電気設備標準仕様書による。																																																			



配管仕様				
使用区分	名 称	規 格		
排 水	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	
	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	
	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742	HIVP	
空 気 管	配管用炭素鋼管	JIS G 3452	SGP (白)	
	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	

配線仕様				
使用区分	名 称	規 格		
動 力	低圧電力用ケーブル600V	JIS C 3605	EM-CE	
	制御用ケーブル	JIS C 3601	EM-CEE	
電 線 管	耐衝撃性硬質ビニル電線管	JIS C 8430	HIVE	
	合成樹脂製可とう電線管	JIS C 8411	PF-D	
	波打硬質ポリエチレン管	-	FEP	

※ケーブル埋設シート設置すること。

躯体仕様	
コンクリート	有筋：Fc=21N/mm ² 無筋：Fc=18N/mm ²
鉄 筋	S0295A
定着、継手	40d
地 業	砂利地業



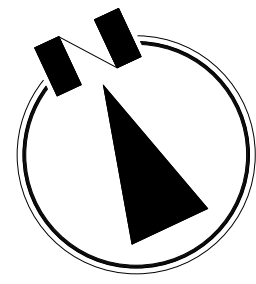
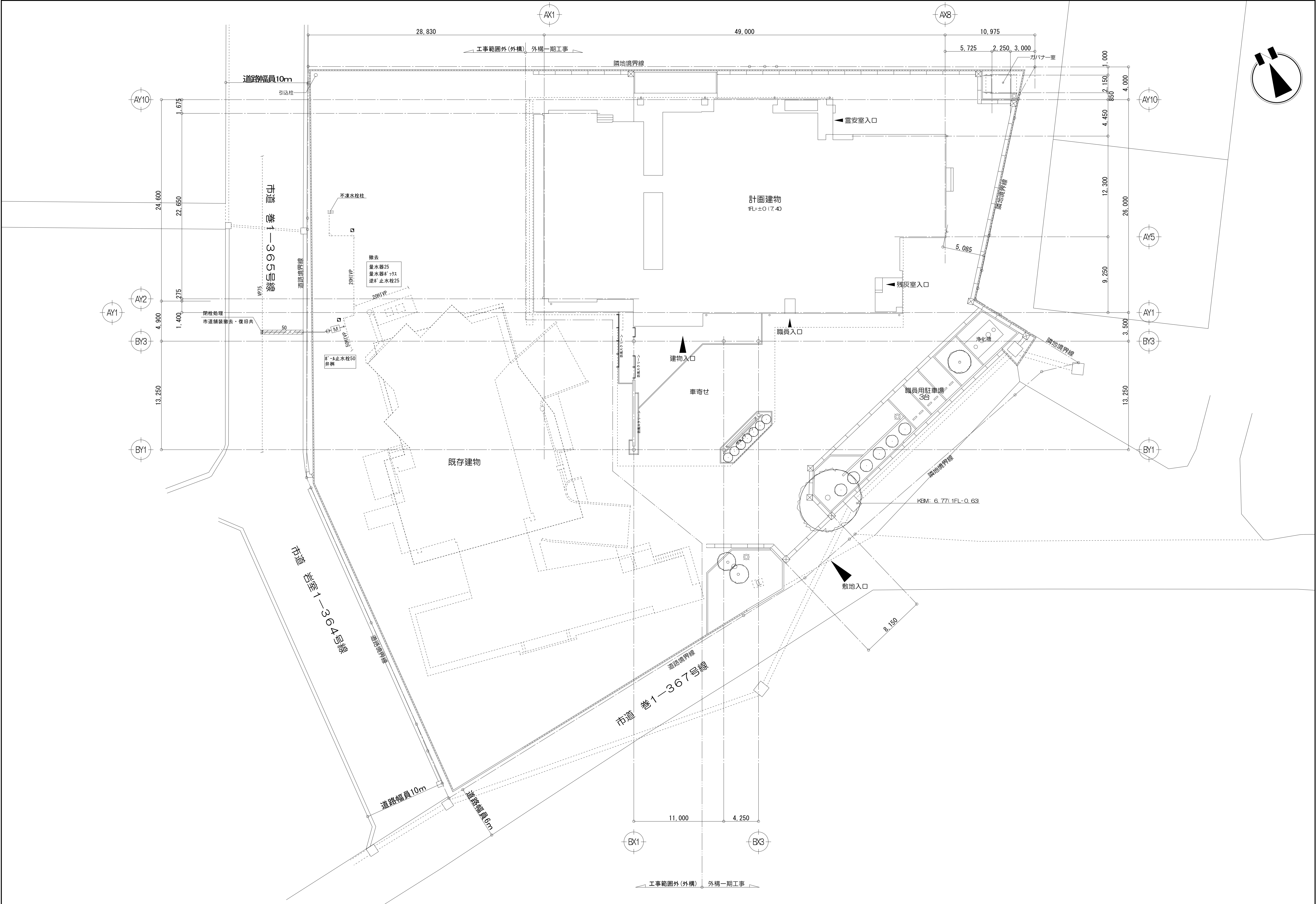
一級建築士事務所
株式会社 基 設 計

管理建築士 一級建築士登録第145251号 櫻井 輝夫
代表設計者 一級建築士登録第329055号 小原 公治

新潟市建築部公共建築課

工 事 名
巻斎場建設機械設備工事

図 名
衛生設備 浄化槽工事仕様書
年 月 日 2025. 03 縮 尺 A1 1:200 A3 1:400 図面番号 M-10



空 調 機 器 表

記 号	名 称	台数	仕 様	動 力			起 動 方 式	設 置 場 所	備 考		
				φ	V	KW					
GHP-1	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾔﾓﾝ室外機	1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁﾀﾞｲﾌﾞ、耐塩害仕様、ｲﾝﾍﾞｰｼｳ	冷	3	200	1.51	屋 外（軒下）	基礎は建築工事		
			冷房能力：71.0KW 暖房能力：80.0KW	暖			0.775				
			燃料消費量(13A) 冷房：63.3KW 暖房：59.3KW								
			防雪ﾌｰﾄﾞ、分岐管、防振架台 他付属品共								
GHP-1A	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾔﾓﾝ室内機	1	床置ﾀﾞｸﾄ形	冷	3	200	1.5	2F 炉機械室	1F ﾍﾞﾝﾄﾞｰﾙ用		
			冷房能力：28.0KW 暖房能力：31.5KW	暖			1.5				
			風量：4,800m3/h程度 x 220Pa								
			ﾘﾓｺﾝ本体取付、 ﾉﾞﾚﾅｯﾌﾟ、防振架台付								
GHP-1B	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾔﾓﾝ室内機	2	床置ﾀﾞｸﾄ形	冷	3	200	0.75	2F 炉機械室(x2)	1F 炉前ﾎｰﾙ1用(x1) 1F 炉前ﾎｰﾙ2用(x1)		
			冷房能力：22.4KW 暖房能力：25.0KW	暖			0.75				
			風量：3,840m3/h程度 x 200Pa								
			ﾘﾓｺﾝ本体取付、 ﾉﾞﾚﾅｯﾌﾟ、防振架台付								
GHP-2	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾔﾓﾝ室外機	1	ﾋﾞﾙ用ﾏﾙﾁﾀﾞｲﾌﾞ、耐塩害仕様、ｲﾝﾍﾞｰｼｳ	冷	3	200	1.14	屋 外（軒下）	基礎は建築工事		
			冷房能力：45.0KW 暖房能力：50.0KW	暖			0.51				
			燃料消費量(13A) 冷房：36.4KW 暖房：34.9KW								
			防雪ﾌｰﾄﾞ、分岐管、防振架台 他付属品共								
GHP-2A	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾔﾓﾝ室内機	4	天井ｶｾｯﾄ形(4方向吹出)	冷	1	200	0.09	1F 待合ﾋﾞｰﾑ(x1) 待合室1(x1)待合室2(x1) 待合室3(x1)			
			冷房能力：9.0KW 暖房能力：10.0KW	暖			0.08				
			標準ﾊﾞｰﾑ、ﾉﾞﾚﾅｯﾌﾟ付、振れ止め1段								
GHP-2B	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾔﾓﾝ室内機	1	ﾋﾞﾙﾄｲﾝﾀﾞｸﾄ形	冷	1	200	0.11	1F 廊下			
			冷房能力：7.1KW 暖房能力：8.0KW	暖			0.11				
			風量：1,140m3/h x 100Pa								
			吹出丸ﾀﾞｸﾄﾌﾗﾝｼﾞ、ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌｳｨﾙﾀｰ(ﾁｬﾝﾊﾞｰ共)、ﾉﾞﾚﾅｯﾌﾟ付、振れ止め1段								
GHP-2C	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾔﾓﾝ室内機	1	天井ｶｾｯﾄ形(1方向吹出)	冷	1	200	0.04	1F 多目的室(和室)			
			冷房能力：3.6KW 暖房能力：4.0KW	暖			0.03				
			標準ﾊﾞｰﾑ、ﾉﾞﾚﾅｯﾌﾟ付、振れ止め1段								
GHP-2D	ｶﾞｽﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾔﾓﾝ室内機	1	壁掛形	冷	1	200	0.03	1F 授乳室			
			冷房能力：2.8KW 暖房能力：3.2KW	暖			0.03				
			ﾉﾞﾚﾅｯﾌﾟ 付								
ワイヤードリモコン		7	GHP用 1F待合ﾋﾞｰﾑ(x1)、待合室1(x1)、待合室2(x1)、待合室3(x1) 1F廊下(x1)、多目的室(和室)(x1)、授乳室(x1) 床置ﾀﾞｸﾄ形（GHP-1A, 1B）用は本体付属								
ON-OFF集中リモコン		1	GHP用 一括免許、運転表示、異常表示 機能 制御可能グループ数16		1	100	0.01	1F 事務室			

空調機器表

記 号	名 称	台数	仕 様	動 力			起動方式	設置場所	備 考
				φ	V	KW			
ACP-1	高暖房型ﾊﾞｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	1	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｲﾝﾊﾞｰﾀｰ式 1:1ﾀｲﾌﾟ、耐塩害仕様	冷	3	200	1.42	1F 事務室	
			室内機：4方向ﾎﾟｾｯﾄ形	暖			1.57		
			冷房能力：7.1KW 暖房能力：8.0KW	暖最大			4.74		
			ワイヤードﾚﾓｺﾝ、ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ、壁付架台（溶融垂鉛ﾒｯｷ）、						
			転倒防止金具付、振れ止め1段						
ACP-2	ﾊﾞｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	1	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｲﾝﾊﾞｰﾀｰ式 1:1ﾀｲﾌﾟ、耐塩害仕様	冷	3	200	2.35	1F 収骨室	
			室内機：天埋ﾀﾞｸﾄ形	暖			2.45		
			冷房能力：7.1KW 暖房能力：8.0KW	暖最大			2.70		
			風量：990m3/h x 100Pa						
			ワイヤードﾚﾓｺﾝ、ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ、ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ、壁付架台（溶融垂鉛ﾒｯｷ）、						
			転倒防止金具付、振れ止め1段						
ACP-3	ﾊﾞｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	3	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｲﾝﾊﾞｰﾀｰ式 1:1ﾀｲﾌﾟ、耐塩害仕様	冷	1	200	1.56	1F 炉室(x3)	ｽﾎﾟｯﾄ空調
			室内機：ﾋﾞﾙﾄｲﾝﾀﾞｸﾄ形	暖			1.59		
			冷房能力：5.0KW 暖房能力：5.6KW	暖最大			2.16		
			風量：660m3/h x 60Pa						
			ワイヤードﾚﾓｺﾝ、ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟ、吸込ﾊｰﾌﾞﾙｽ&、ﾛﾝｸﾞﾗｲﾌﾌｨﾙﾀｰ						
			壁付架台（溶融垂鉛ﾒｯｷ）、転倒防止金具付、振れ止め1段						
ACP-1	高暖房型ﾙｰﾑｴｱｺﾝ	2	空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｲﾝﾊﾞｰﾀｰ式 1:1ﾀｲﾌﾟ、耐塩害仕様	冷	1	100	0.65	1F 更衣室1	室内電源
			室内機：壁掛形	暖			1.97	1F 更衣室2	
			冷房能力：2.2KW 暖房能力：2.8KW						
			ワイヤードﾚﾓｺﾝ、室外機壁掛架台（溶融垂鉛ﾒｯｷ）、転倒防止金具付						

【注記】 1. エアコンの能力表示はJIS条件による。

①パナソニックエアコンの定格能力、定格消費電力は「JIS B8616」で規格された値。

②ルームエアコンの定格能力、定格消費電力は「JIS C9612」で規格された値。

2. 冷暖房機器はメーカー標準仕様とする。

3. 室内機の風量表示は、強ノッチを示す。

4. 基礎は建築工事とする。

換 氣 機 器 表

記 号	名 称	台数	仕 様	動 力			起動方式	設置場所	備 考	
				φ	V	KW				
HEU-1	全熱交換型換気扇	1	型 式	天井隠ぺい形 C02センサー付		1	100	0.42	2F 炉機械室 (1F エントランスホール用)	
			仕 様	750m3/h x 160Pa x 250Φ						
			付属品	コントローラスイッチ（本体付）、防振吊金物付						
HEU-2	全熱交換型換気扇	2	型 式	天井隠ぺい形 C02センサー付		1	100	0.42	2F 炉機械室 (1F 炉前ホール・2用)	24H運転
			仕 様	750m3/h x 150Pa x 250Φ (24H運転100m3/h)						
			付属品	コントローラスイッチ（本体付）、防振吊金物付						
HEU-3	全熱交換型換気扇	1	型 式	天井隠ぺい形 C02センサー付		1	100	0.37	1F 待合ロビー	
			仕 様	600m3/h x 120Pa x 200Φ						
			付属品	コントローラスイッチ、防振吊金物付						
HEU-4	全熱交換型換気扇	3	型 式	天井隠ぺい形 C02センサー付		1	100	0.37	1F 待合室1・2・3	24H運転
			仕 様	600m3/h x 120Pa x 200Φ (24H運転 40m3/h)						
			付属品	コントローラスイッチ、防振吊金物付						
HEU-5	全熱交換型換気扇	1	型 式	天井隠ぺい形 C02センサー付		1	100	0.11	1F 事務室	24H運転
			仕 様	120m3/h x 90Pa x 100Φ (24H運転 30m3/h)						
			付属品	コントローラスイッチ、防振吊金物付						
HEU-6	全熱交換型換気扇	1	型 式	天井カセット形		1	100	0.07	1F 多目的室（和室）	24H運転
			仕 様	120m3/h x 50Pa x 100Φ (24H運転 15m3/h)						
			付属品	コントローラスイッチ、防振吊金物付						
	集中コントローラ	1	全熱交換型換気扇用 遠方発停（個別、ゾーン、一括）、タイマ設定制御			1	100	0.02	1F 事務室	総合盤（電気工事）に組込
FE-1	排風機	1	型 式	消音型 ストレートボックスファン	防振吊金物付	1	100	0.14	1F 収骨室	FS-1と連動
			仕 様	610m3/h x 110Pa x 200Φ						
FE-2	排風機	1	型 式	消音型 ストレートボックスファン	防振吊金物付	3	200	0.9	1F 電気室	
			仕 様	2,800m3/h x 120Pa x #2 サーモスイッチ共						
FE-3	排風機	1	型 式	消音型 ストレートボックスファン	防振吊金物付	1	100	0.06	1F 霊安室	
			仕 様	280m3/h x 100Pa x 150Φ						
FE-4	排風機	1	型 式	消音型 ストレートボックスファン	防振吊金物付	1	100	0.14	1F 残灰室	
			仕 様	600m3/h x 110Pa x 200Φ						
FE-5	排風機	1	型 式	消音型 ストレートボックスファン	防振吊金物付	1	100	0.11	1F 男子WC	
			仕 様	490m3/h x 100Pa x 200Φ						
FE-6	排風機	1	型 式	消音型 ストレートボックスファン	防振吊金物付	1	100	0.11	1F 女子WC	
			仕 様	440m3/h x 100Pa x 200Φ						
FE-7	排風機	1	型 式	消音型 ストレートボックスファン	防振吊金物付	1	100	0.06	1F 多機能WC	
			仕 様	180m3/h x 100Pa x 150Φ						
FE-8	排風機	1	型 式	消音型 ストレートボックスファン	防振吊金物付	1	100	0.02	1F 授乳室	
			仕 様	80m3/h x 90Pa x 100Φ						
FE-9	排風機	1	型 式	消音型 ストレートボックスファン	防振吊金物付	1	100	0.04	1F 湯沸室	
			仕 様	120m3/h x 90Pa x 150Φ						
FE-10	排風機	2	型 式	消音型 ストレートボックスファン	防振吊金物付	1	100	0.02	1F WC1、WC2	
			仕 様	70m3/h x 100Pa x 100Φ						
FE-11	排風機	1	型 式	消音型 ストレートボックスファン	防振吊金物付	1	100	0.02	1F 台車収納庫	
			仕 様	100m3/h x 90Pa x 100Φ						

換 氣 機 器 表

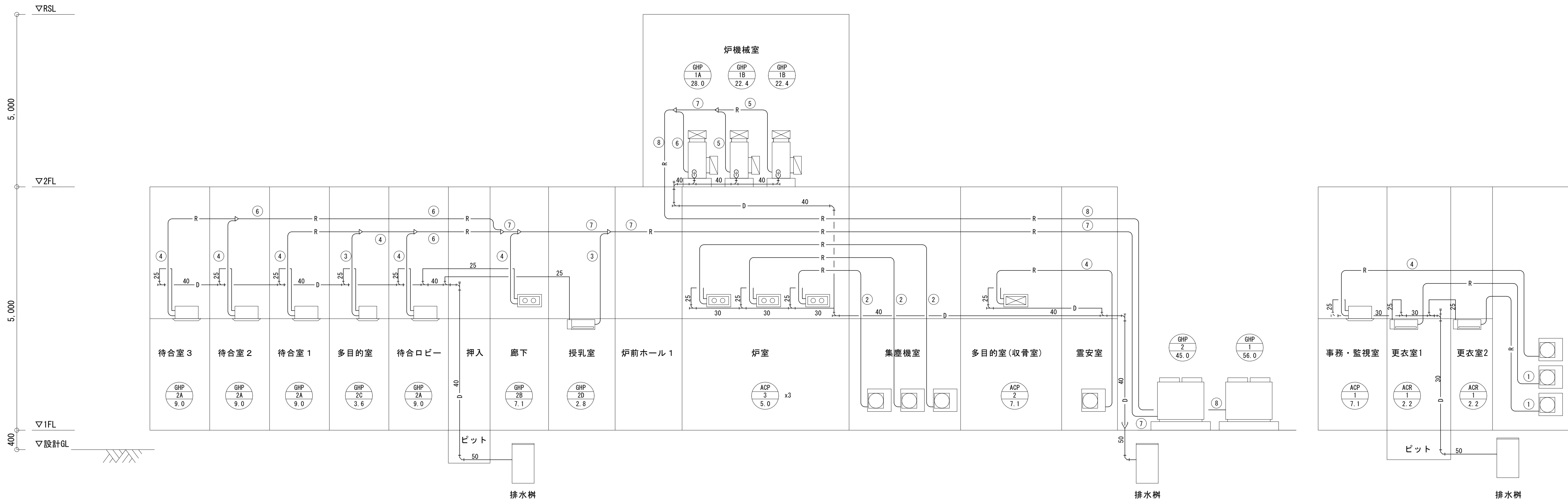
記 号	名 称	台数	仕 様	動 力			起動方式	設置場所	備 考
				φ	V	KW			
FE-M1	排風機	1	型 式 消音型 片吸込シロッコファン 防振吊金物付	3	200	0.75		1F 炉室	
			仕 様 3.800m3/h x 130Pa x #21/2						
FE-M2	排風機	1	型 式 消音型 片吸込シロッコファン 防振吊金物付	3	200	1.5		2F 炉機械室	
			仕 様 6.000m3/h x 130Pa x #3						
FS-1	送風機	1	型 式 消音型 ストレートシロッコファン 防振吊金物付	1	100	0.14		1F 収骨室	FE-1と連動
			仕 様 610m3/h x 150Pa x 200Φ						
FV-1	天井扇	2	型 式 低騒音型、樹脂製ｸﾞﾘｰﾝ、風圧式ｼｬｯﾀｰ付	1	100	0.03		1F 更衣室1、更衣室2	
			仕 様 150m3/h x 40Pa x 150Φ						
FV-2	天井扇	1	型 式 低騒音型、樹脂製ｸﾞﾘｰﾝ、風圧式ｼｬｯﾀｰ付	1	100	0.02		1F 物入れ	
			仕 様 70m3/h x 40Pa x 100Φ						
MS-1	給気用電動ｼｬｯﾀｰ	1	型 式 鋼板製中間取付形、常閉式、150φ	1	100	4W		1F 霊安室	FE-3と連動
			仕 様						
MS-2	給気用電動ｼｬｯﾀｰ	1	型 式 鋼板製中間取付形、常閉式、200φ	1	100	4W		1F 残灰室	FE-4と連動
			仕 様						
F-1	ﾌｨﾙﾀｰﾎﾞｯｸｽ (利用者WC系統0A)	1	型 式 ﾌﾞﾚｲﾌｨﾙﾀｰ (質量法57) ﾌｨﾙﾀｰｻｲｽﾞ 600 x 600程度					1F 廊下天井内	
			仕 様 銅板製ｸｰｼﾞﾝｸﾞ、天吊り横引抜型 ﾎﾞｯｸｽｻｲｽﾞ 700 x 700 x 400D程度						
			風量 80～1310m3/h、初期圧損20Pa以下程度、差圧計共						
F-2	ﾌｨﾙﾀｰﾎﾞｯｸｽ (管理系統0A)	1	型 式 ﾌﾞﾚｲﾌｨﾙﾀｰ (質量法57) ﾌｨﾙﾀｰｻｲｽﾞ 600 x 300程度					1F 更衣室 1 天井内	
			仕 様 銅板製ｸｰｼﾞﾝｸﾞ、天吊り横引抜型 ﾎﾞｯｸｽｻｲｽﾞ 700 x 700 x 400D程度						
			風量 70～630m3/h、初期圧損20Pa以下程度、差圧計共						
F-3	ﾌｨﾙﾀｰﾎﾞｯｸｽ (霊安室系統0A)	1	型 式 ﾌﾞﾚｲﾌｨﾙﾀｰ (質量法57) ﾌｨﾙﾀｰｻｲｽﾞ 600 x 300程度					1F 霊安室天井内	
			仕 様 銅板製ｸｰｼﾞﾝｸﾞ、天吊り横引抜型 ﾎﾞｯｸｽｻｲｽﾞ 700 x 700 x 400D程度						
			風量 280～890m3/h、初期圧損20Pa以下程度、差圧計共						

【全熱交換型換氣扇 注記】

1. 全熱交換効率は冷房：63%以上、暖房：72%以上とする。（HEU-206は冷房64%以上暖房70%以上）
2. 自動換気切替機能、余熱時外気取入れ停止機能付きとする。
3. 全熱交換効率は、JIS B 8628 による。

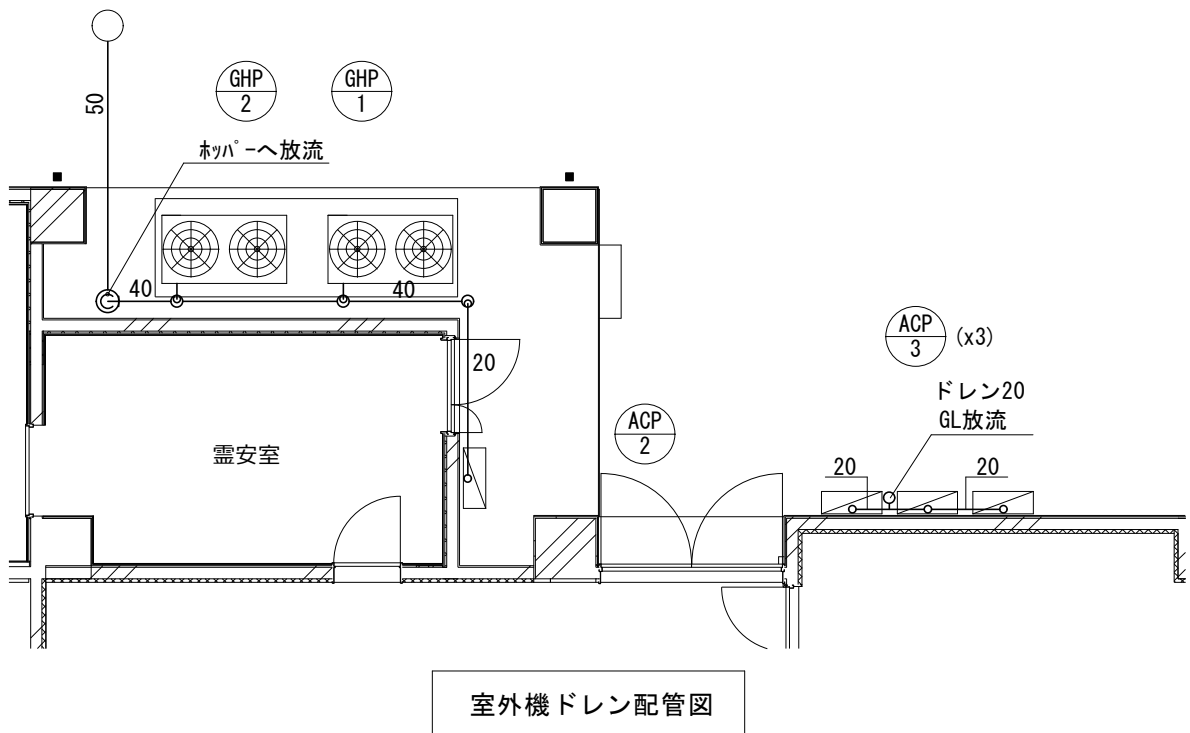
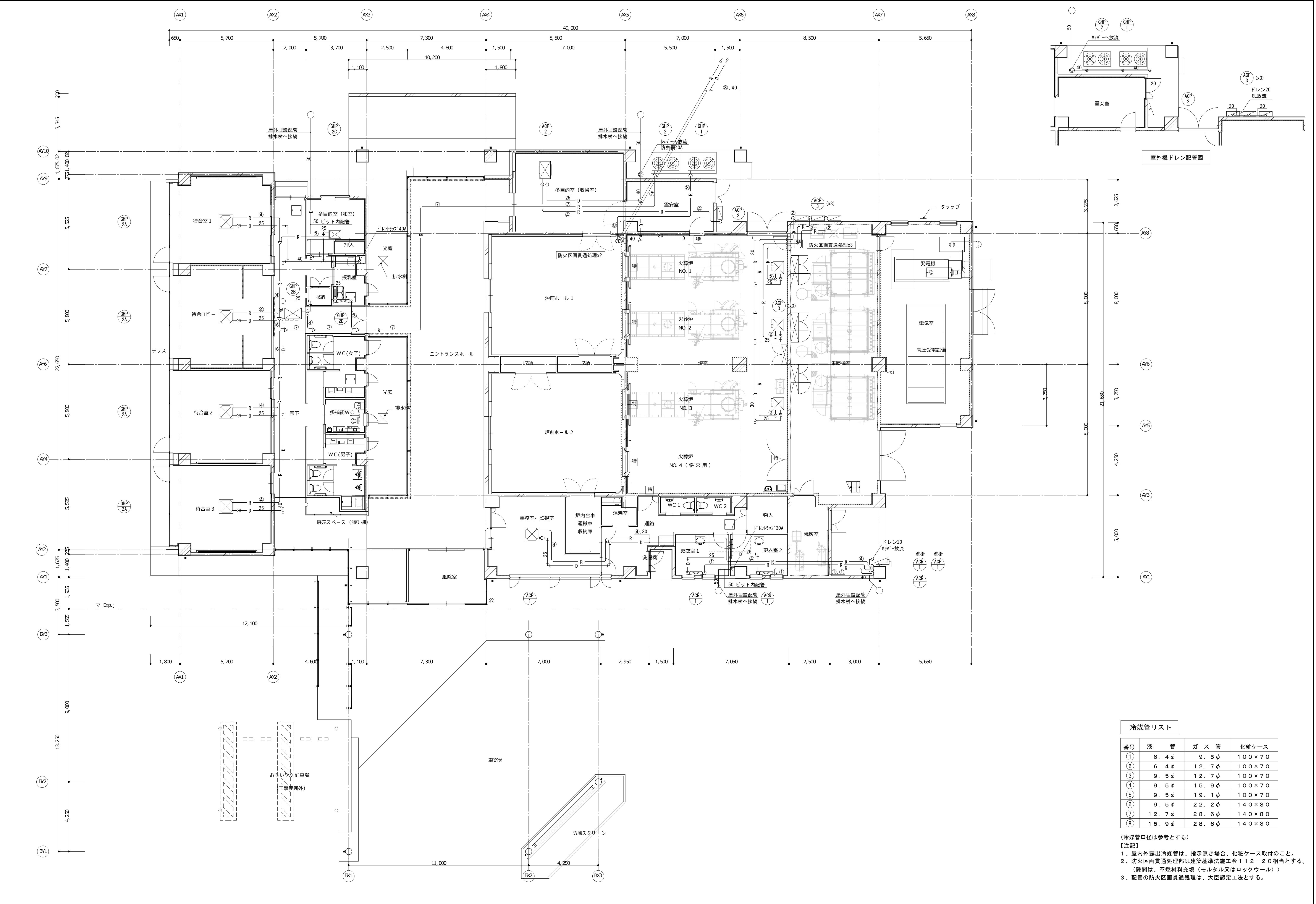
【換氣機器共通 注記】

1. 換気機器類は強ノチの風量を示す。
2. バイフートは深形SUS製（防鳥あみ付）とし指定色焼付け塗装とする。



冷媒管リスト			
番号	液 管	ガ ス 管	化粧ケース
①	6. 4 φ	9. 5 φ	1 0 0 × 7 0
②	6. 4 φ	1 2. 7 φ	1 0 0 × 7 0
③	9. 5 φ	1 2. 7 φ	1 0 0 × 7 0
④	9. 5 φ	1 5. 9 φ	1 0 0 × 7 0
⑤	9. 5 φ	1 9. 1 φ	1 0 0 × 7 0
⑥	9. 5 φ	2 2. 2 φ	1 4 0 × 8 0
⑦	1 2. 7 φ	2 8. 6 φ	1 4 0 × 8 0
⑧	1 5. 9 φ	2 8. 6 φ	1 4 0 × 8 0

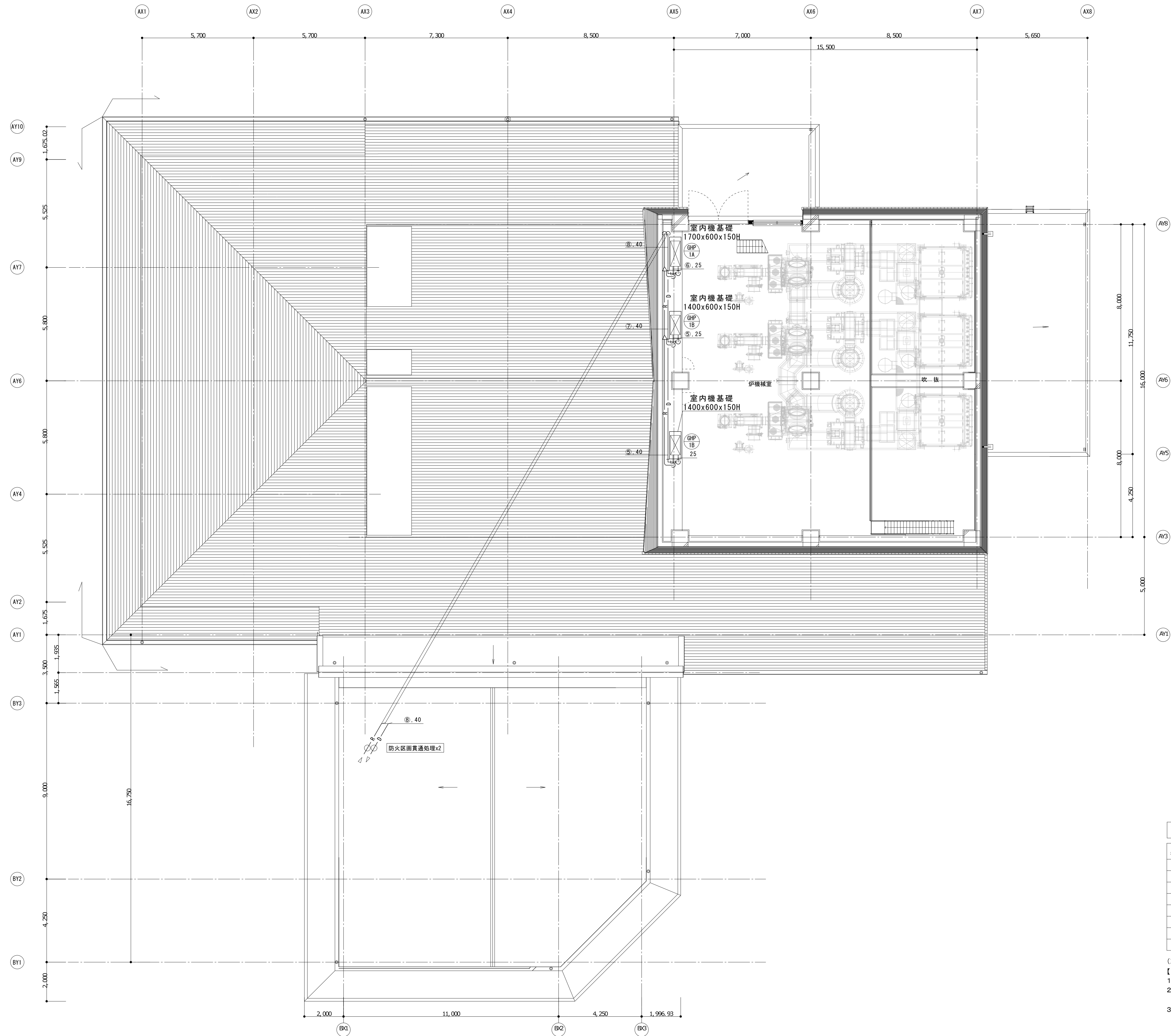
(冷媒管口径は参考とする)
【注記】
1、屋内外露出冷媒管は、指示無き場合、化粧ケース取付のこと。



冷媒管リスト

番号	液 管	ガ ス 管	化粧ケース
①	6.4φ	9.5φ	100×70
②	6.4φ	12.7φ	100×70
③	9.5φ	12.7φ	100×70
④	9.5φ	15.9φ	100×70
⑤	9.5φ	19.1φ	100×70
⑥	9.5φ	22.2φ	140×80
⑦	12.7φ	28.6φ	140×80
⑧	15.9φ	28.6φ	140×80

(冷媒管口径は参考とする)
【注記】
1、屋内外露出冷媒管は、指示無き場合、化粧ケース取付のこと。
2、防火区画貫通処理部は建築基準法施工令112-20相当とする。
(隙間は、不燃材料充填(モルタル又はロックウール))
3、配管の防火区画貫通処理は、大臣認定工法とする。



冷媒管リスト			
番号	液 管	ガ ス 管	化粧ケース
①	6. 4 φ	9. 5 φ	100×70
②	6. 4 φ	12. 7 φ	100×70
③	9. 5 φ	12. 7 φ	100×70
④	9. 5 φ	15. 9 φ	100×70
⑤	9. 5 φ	19. 1 φ	100×70
⑥	9. 5 φ	22. 2 φ	140×80
⑦	12. 7 φ	28. 6 φ	140×80
⑧	15. 9 φ	28. 6 φ	140×80

(冷媒管口径は参考とする)
【注記】
1、屋内外露出冷媒管は、指示無き場合、化粧ケース取付のこと。
2、防火区画貫通処理部は建築基準法施工令112-20相当とする。
(隙間は、不燃材料充填(モルタル又はロックウール))
3、配管の防火区画貫通処理は、大臣認定工法とする。

換氣制氣口

待合室 1		
SA	600m3/h (HEU-4)	1 個
VHS	350 x 350	
BOX 450 x 450 x 300H (GW25内貼)		
待合室 1		
RA	600m3/h (HEU-4)	1 個
GVS	350 x 350	
BOX 450 x 450 x 300H (GW清音)		
待合ロビー		
SA	600m3/h (HEU-3)	1 個
VHS	350 x 350	
BOX 450 x 450 x 300H (GW25内貼)		
待合ロビー		
RA	600m3/h (HEU-3)	1 個
GVS	350 x 350	
BOX 450 x 450 x 300H (GW清音)		
待合室 2		
SA	600m3/h (HEU-4)	1 個
VHS	350 x 350	
BOX 450 x 450 x 300H (GW25内貼)		
待合室 2		
RA	600m3/h (HEU-4)	1 個
GVS	350 x 350	
BOX 450 x 450 x 300H (GW清音)		
待合室 3		
SA	600m3/h (HEU-4)	1 個
VHS	350 x 350	
BOX 450 x 450 x 300H (GW25内貼)		
待合室 3		
RA	600m3/h (HEU-4)	1 個
GVS	350 x 350	
BOX 450 x 450 x 300H (GW清音)		
授乳室		
EA	80m3/h (FE-8)	1 個
GVS	150 x 150	
BOX 250 x 250 x 300H		
女子トイレ		
EA	440m3/h (FE-6)	1 個
GVS	300 x 300	
BOX 400 x 400 x 300H		
多機能トイレ		
EA	180m3/h (FE-7)	1 個
GVS	200 x 200	
BOX 300 x 300 x 300H		
男子トイレ		
EA	245m3/h (FE-5)	2 個
GVS	250 x 250	
BOX 350 x 350 x 300H		
廊下		
OA・S	440m3/h	1 個
VHS	300 x 300	
BOX 400 x 400 x 300H (GW25内貼)		
エントランスホール		
SA	750m3/h (HEU-1)	1 個
CL-10	1500	
BOX 1600 x 300 x 300H (GW25内貼)		
エントランスホール		
RA	750m3/h (HEU-1)	1 個
CL-10	1500	
BOX 1600 x 300 x 300H (GW25内貼)		
事務室・監視室		
SA	120m3/h (HEU-5)	1 個
VHS	150 x 150	
BOX 250 x 250 x 300H (GW25内貼)		
事務室・監視室		
RA	120m3/h (HEU-5)	1 個
GVS	150 x 150	
BOX 250 x 250 x 300H (GW清音)		

多目的室(収容室)		
EA	610m ³ /h (FE-1)	1 個
GVS	350 x 350	
BOX 450 x 450 x 300H		
霊安室		
EA	280m ³ /h (FE-3)	1 個
GVS	250 x 250	
BOX 350 x 350 x 300H		
霊安室		
0A ₀ λ	280m ³ /h	1 個
VHS	250 x 250	
BOX 350 x 350 x 300H (GW25内貼)		

炉室		3 個
EA	1267m ³ /h (FE-M1)	
GVS	500 × 500	
BOX 600 × 600 × 400H		

電気室		1 個
EA	2800m ³ /h (FE-2)	
GVS	750 × 750	
BOX 850 × 850 × 500H		

空調制気口

廊下		
SA	380m ³ /h (GHP-2B)	3 値
BL-D	1000	3 値
BOX	1100 x 300 x 300H (GW25消音)	
廊下		
RA	1140m ³ /h (GHP-2B)	1 値
GV5	500 x 500	
BOX	600 x 600 x 400H (GW25消音)	
エントランスホール		
SA	800m ³ /h (GHP-1A)	6 値
CL-10	1500	6 値
BOX	1600 x 300 x 400H (GW25内貼)	
炉前ホール 1		
SA	1280m ³ /h (GHP-1B)	3 値
CL-14	2000	3 値
BOX	2100 x 300 x 400H (GW25内貼)	
炉前ホール 2		
SA	1280m ³ /h (GHP-1B)	3 値
CL-14	2000	3 値
BOX	2100 x 300 x 400H (GW25内貼)	
多目的室 (収骨室)		
SA	1600m ³ /h (ACP-2) (FS-1)	1 値
CL-16	2500	1 値
BOX	2600 x 300 x 400H (GW25内貼)	
多目的室 (収骨室)		
RA	990m ³ /h (ACP-2)	1 値
GV5	1000 x 200	
BOX	1100 x 300 x 400H (GW25消音)	
炉室		
SA	330m ³ /h (ACP-3)	6 値
パンカールパー		
BOX	300 x 300 x 300H (GW25内貼)	
チャンパーBOX		
(ACP-2)		
SA	600x400x300 (GW25)	1
RA	700x400x400 (GW25)	1
エントランスホール (GHP-1A)		
RA 壁スリット建築工事		
壁内チャンパー		1
炉前ホールの 2 (GHP-1B)		
RA 壁スリット建築工事		
壁内チャンパー		2
炉前ホールの 2 (HEU-2)		
RA 壁スリット建築工事		
壁内チャンパー		2

凡例

	消音エルボ
	消音フレキ

換氣制氣口

台車收納庫		
EA	100m3/h (FE-11)	1 個
GVS	150 x 150	
BOX 250 x 250 x 300H		

台車收納庫		1 個
0A λ 100m3/h		
VHS 150 x 150		
BOX 250 x 250 x 300H (GW25内貼)		

通路		1 個
0A ⁺ x	140m3/h	
VHS	150 x 150	
BOX 250 x 250 x 300H (GW25内貼)		

湯沸室		
EA	120m ³ /h (FE-9)	1 個
GVS	150 x 150	
BOX 250 x 250 x 300H		

WC1			1 個
EA	70m3/h	(FE-10)	
GVS	150 x 150		
BOX 250 x 250 x 300H			

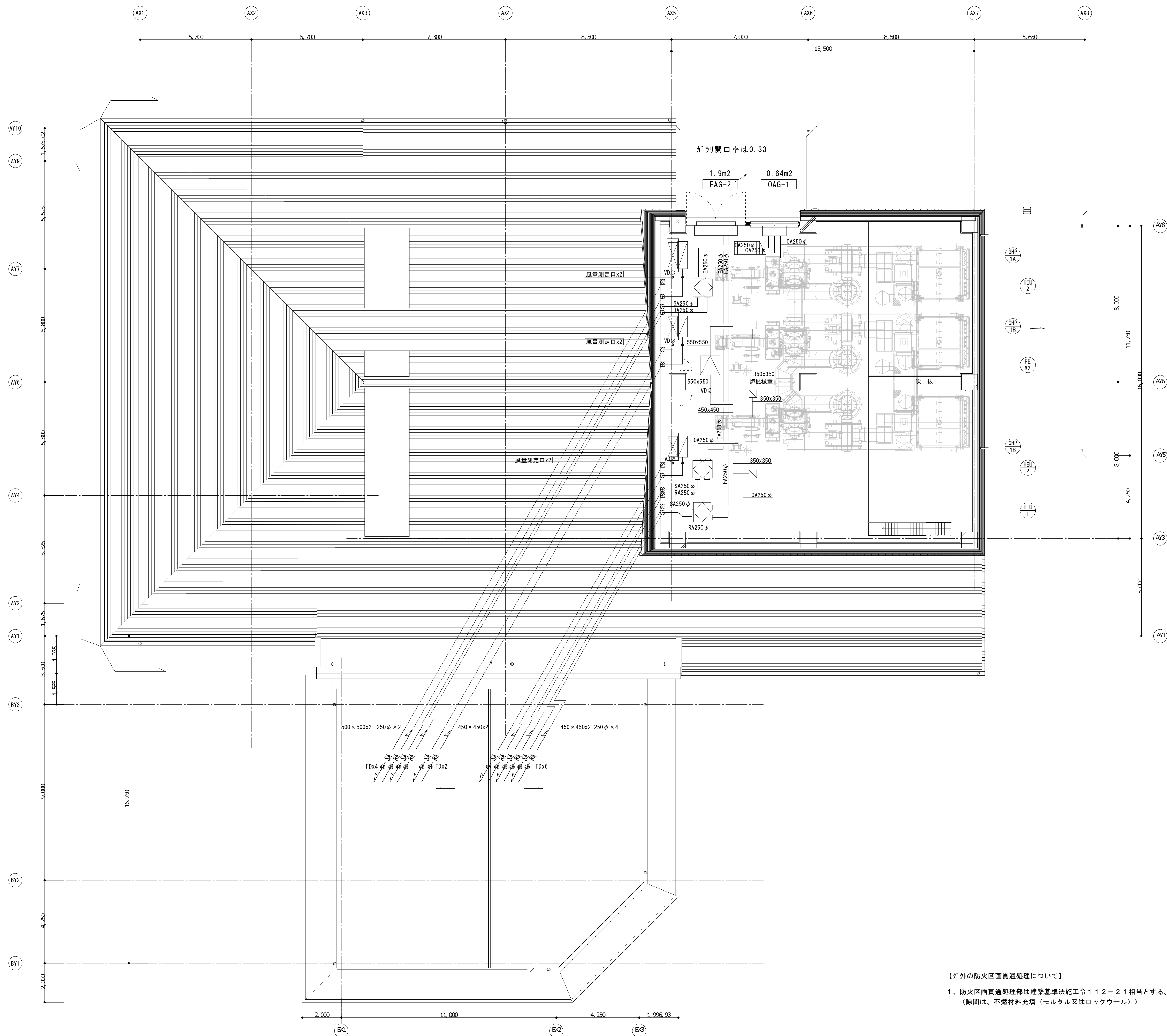
WC2			
EA	70m3/h	(FE-10)	1 個
GVS	150 x 150		
BOX 250 x 250 x 300H			

殘灰室			1 個
EA	600m ³ /h	(FE-4)	
GVS	350 × 350		
BOX 450 × 450 × 400H			

残灰室	
0A ⁺ 600m ³ /h	1 個
VHS 350 x 350	
BOX 450 x 450 x 400H (GW25内貼)	

【タ' 外の防火区画貫通処理について】

- 1、防火区画貫通処理部は建築基準法施工令112-21相当とする。
(隙間は、不燃材料充填(モルタル又はロックウール))



換気制気口

炉機械室	
EA 2000m3/h (FE-M2)	3
GVS 650 x 650	個
BOX 750 x 750 x 450H	

チャンバーBOX

(GHP-1A)	
SA 700x1000x700 (GW25)	1
RA 1500x700x700 (GW25)	1
(GHP-1B)	
SA 700x1000x700 (GW25)	2
RA 1200x700x700 (GW25)	2

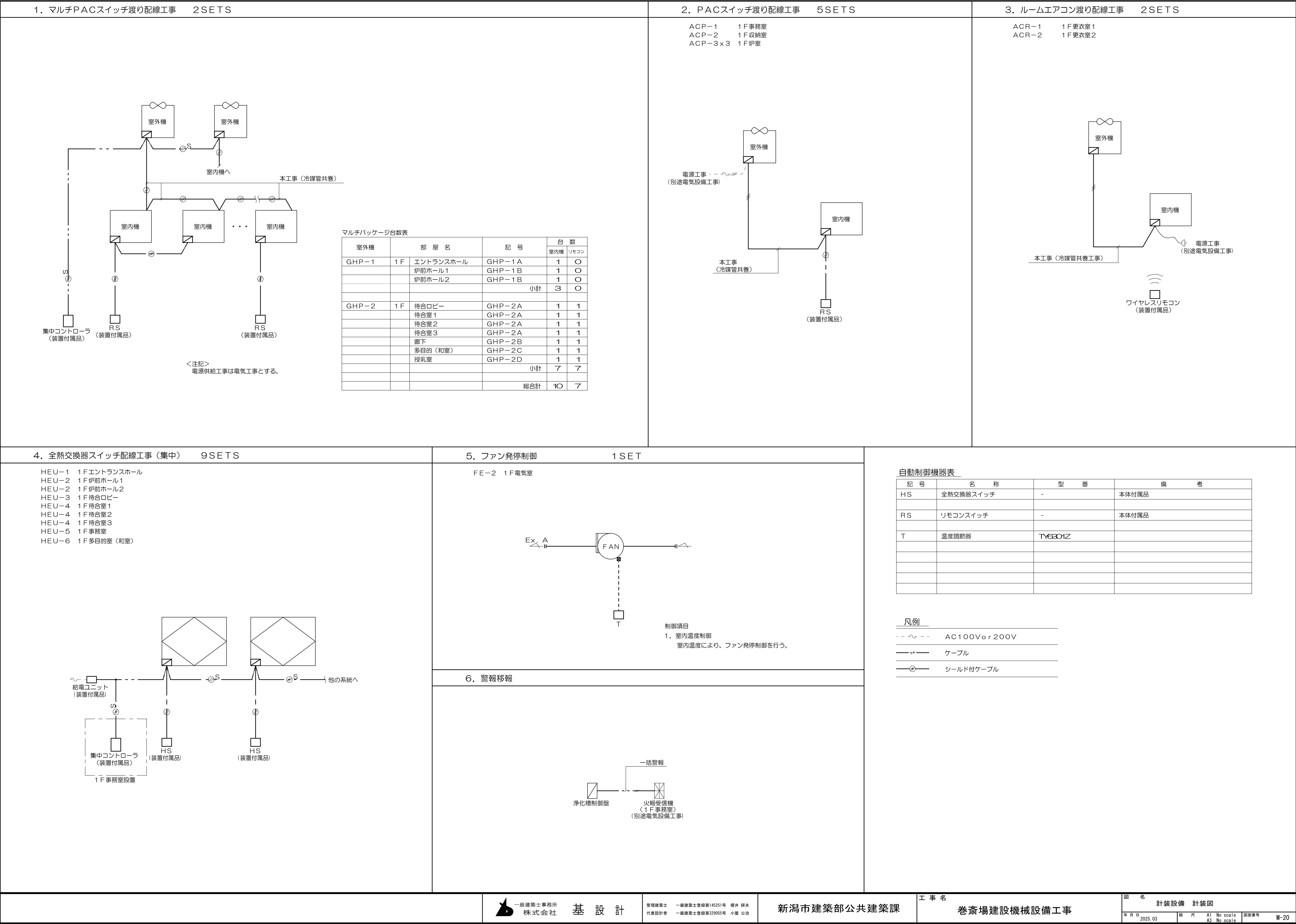
ガリリBOX (ガリリは建築工事)

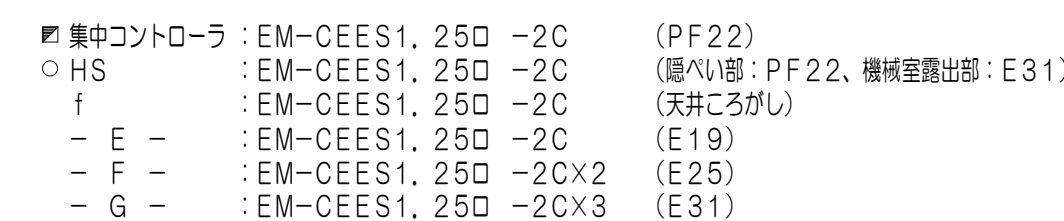
(EAG-2)	
EA 9050m3/h	1
2200x1200x500 (GW25外貼)	個
(OAG-1)	
OA 2250m3/h	1
1200x800x500 (GW25外貼)	個

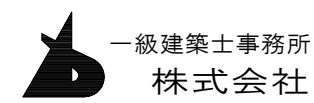
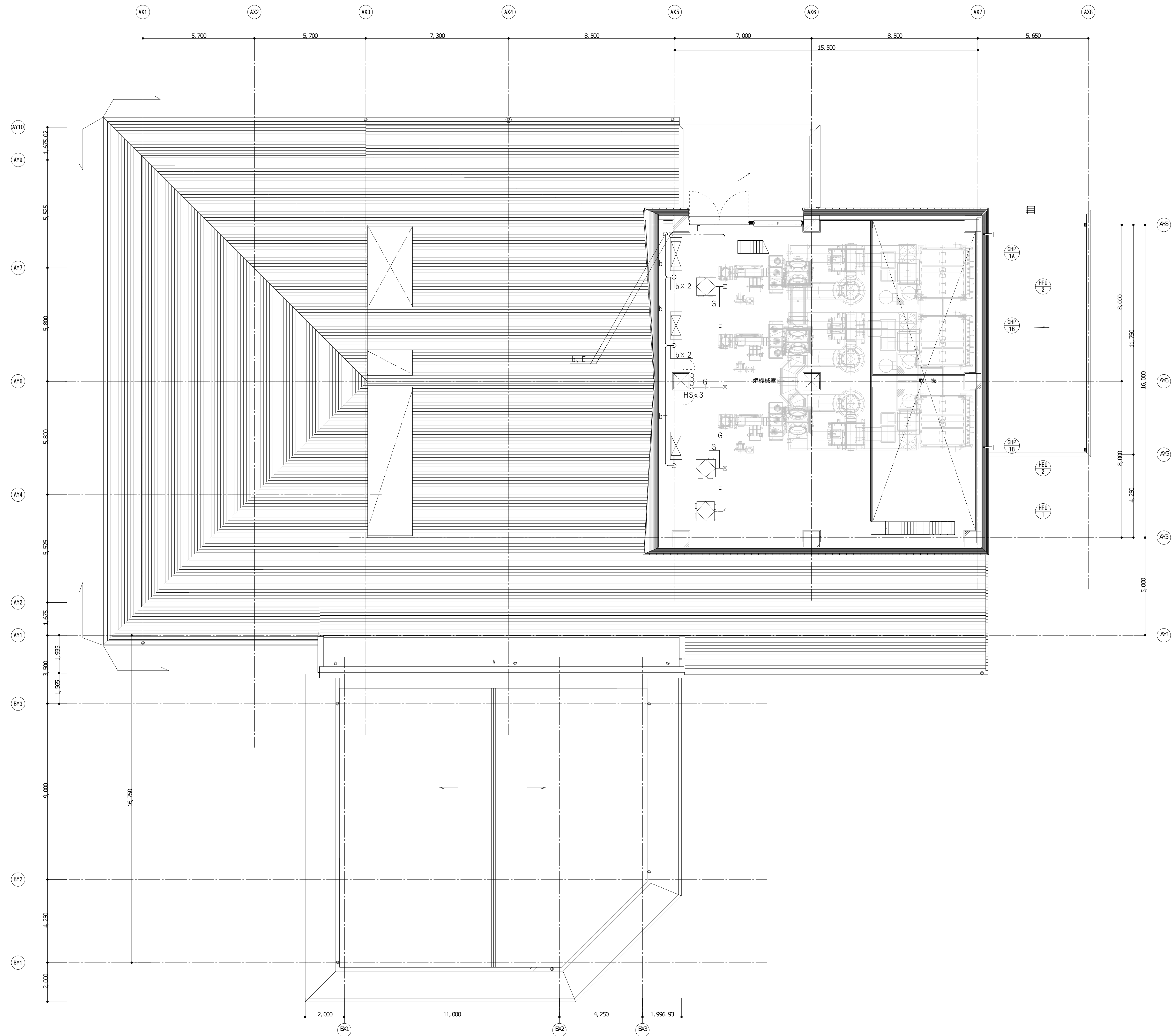
凡例

	消音エルボ
	消音フレキ

【ガリの防火区画貫通処理について】
1、防火区画貫通処理部は建築基準法施工令112-21相当とする。
(隙間は、不燃材料充填 (モルタル又はロックウール))







一級建築士事務所
株式会社

基 設 計

管理建築士 一級建築士登録第145251号 櫻井 研夫
代表設計者 一級建築士登録第329055号 小塚 公治

新潟市建築部公共建築課

工 事 名

巻斎場建設機械設備工事

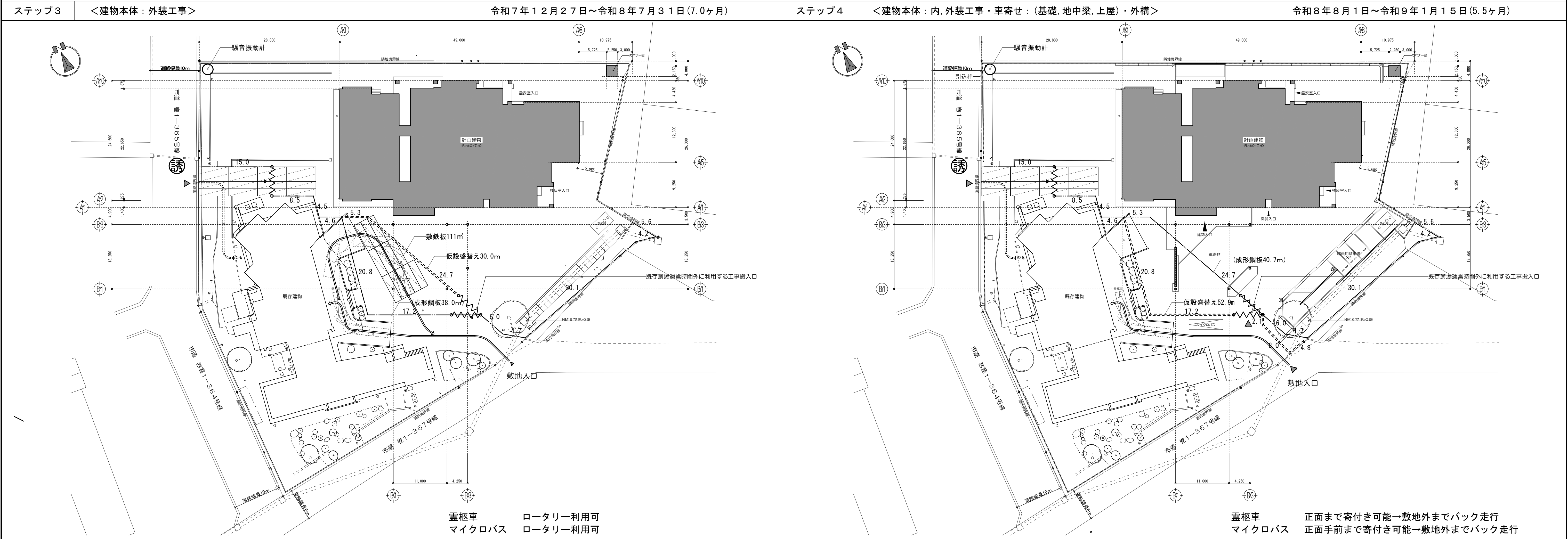
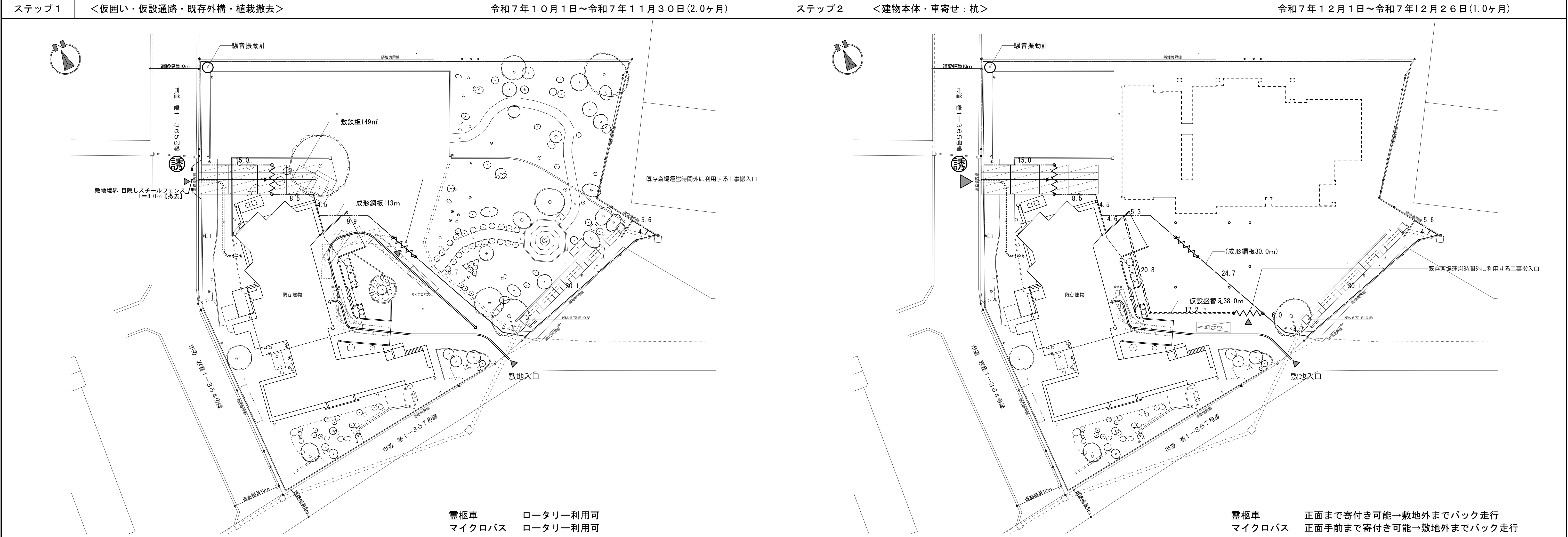
図 名

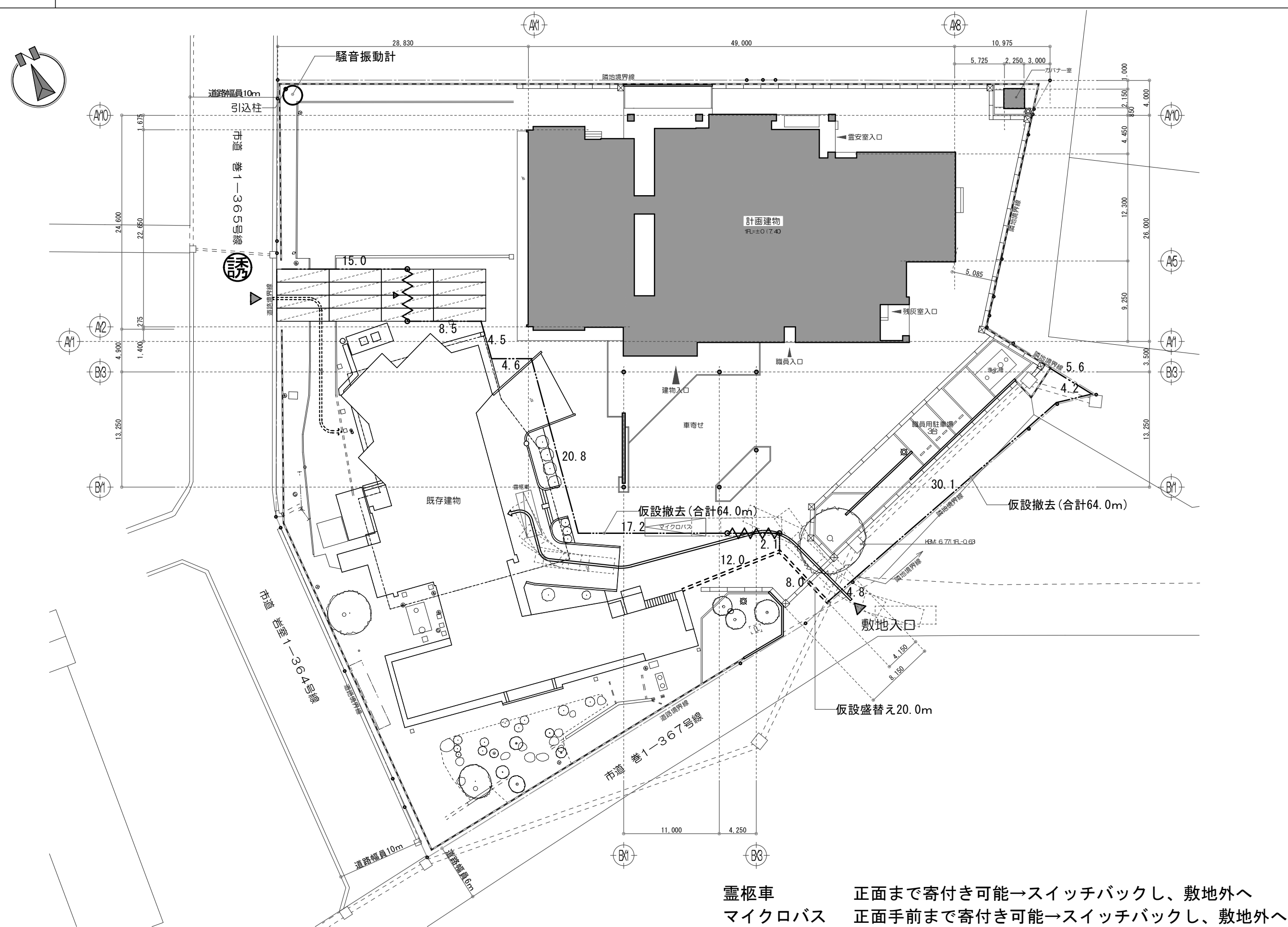
計装設備 2階平面図

年 月 日
2025. 03

縮 尺
A1 1 : 100
A3 1 : 200

図面番号
M-22

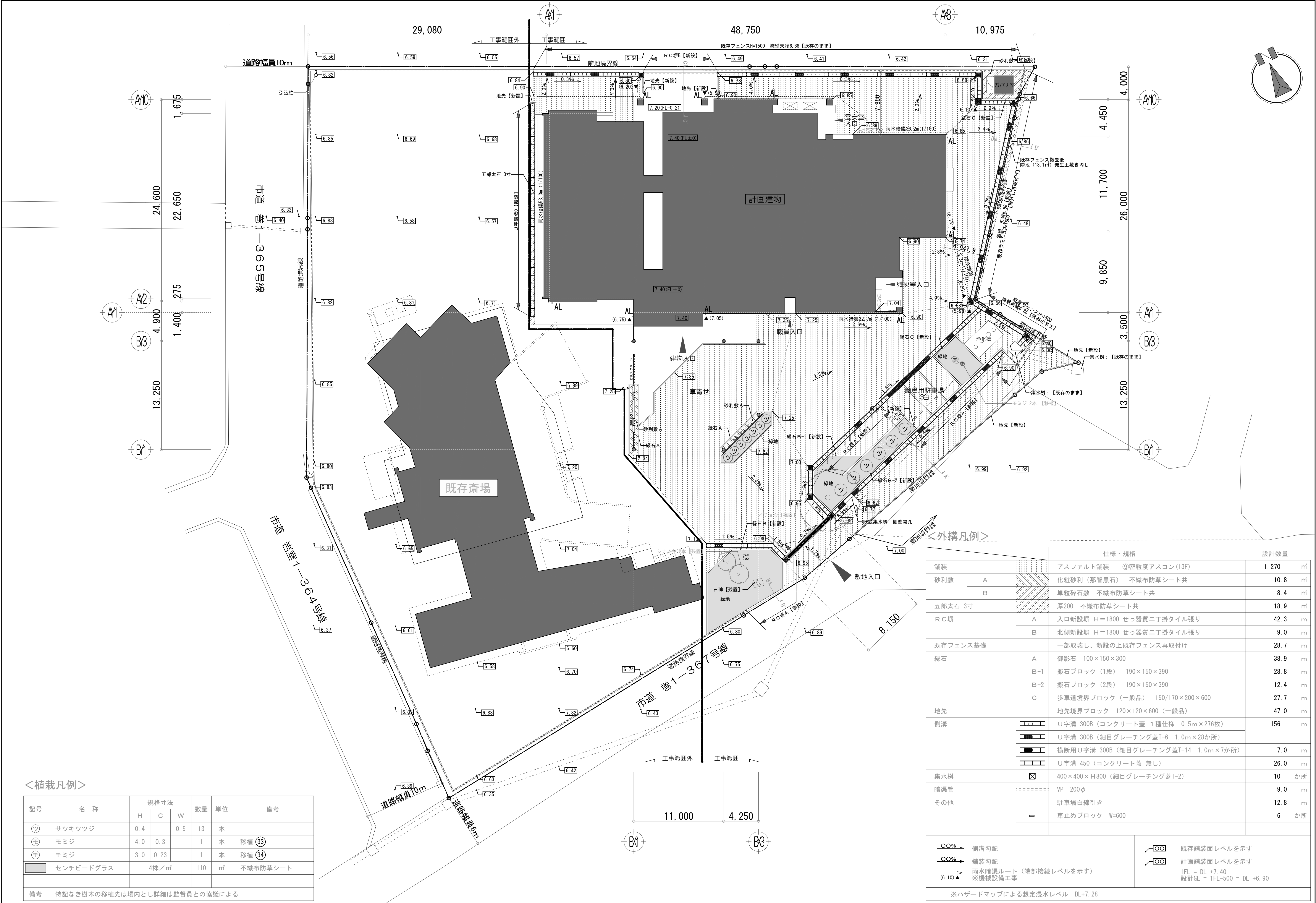




凡 例 (仮設計画)

			名称・規格・寸法	数量	期間	備考
	工事関係者出入口		交通誘導員	325 人		仮設材・足場設置、コンクリート等資材搬入時
	施設利用者出入口		成型鋼板① H=2.0m	113 m	2ヶ月	ステップ1
	施設利用者動線		成型鋼板① H=2.0m	83.2 m	1ヶ月	ステップ2
	施設職員等サービス出入口		成型鋼板① H=2.0m	83.2 m	7ヶ月	ステップ3
	施設職員等サービス動線		成型鋼板① H=2.0m	72.5 m	5.5ヶ月	ステップ4
			成型鋼板① H=2.0m	53.4 m	1ヶ月	ステップ5
			成型鋼板② H=2.0m	38.0 m	1ヶ月	ステップ2 30.0mは①の盛替え
			成型鋼板② H=2.0m	30.0 m	7ヶ月	ステップ3 30.0mは②の盛替え
			成型鋼板② H=2.0m	52.9 m	5.5ヶ月	ステップ4 40.7mは②の盛替え
			成型鋼板② H=2.0m	20 m	1ヶ月	ステップ5 20.0mは②の盛替え
			クロスゲート W=6.0m	1 か所	16.5ヶ月	西側
			クロスゲート W=6.0m	1 か所	15.5ヶ月	3回盛替え(ステップ1～4)
			敷鉄板 t22 6,096×1,524	149 m ²	16.5ヶ月	
			敷鉄板 t22 6,096×1,524	111 m ²	7ヶ月	ステップ3
			騒音振動計	1 か所	16.5ヶ月	西側

工 事 項 目		概 略 工 事 工 程 表 (案)																								摘 要			
		令和7年			令和8年												令和9年						(月)						
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6							
		工期10/1	1 10/20	2 10/20	3 10/20	4 10/20	5 10/20	6 10/20	7 10/20	8 10/20	9 10/20	10 10/20	11 10/20	12 10/20	13 10/20	14 10/20	15 10/20	16 10/20	17 10/20	3/12 12/20									
建 築	準備・仮設工事	既設い・仮設道路 橋工		仮設溝		外部足場 仮保工								外部足場解体 仮設撤去						各種直平									
	既存外構・植栽撤去																												
	躯体工事			杭		基礎・地中梁		土留ヒット		1階上壁		2階上壁																	
	車寄せ工事			杭								鉄骨上壁防水 土留・地中梁		外装仕上															
	屋根・防水工事									屋根・防水 種類本体																			
	金属製建具工事																												
	外装工事																												
	内装工事																												
	仕上ユニット・雑 家具サイン工事																												
設 備	外構工事																												
	電気設備工事																												
火葬炉	機械設備工事																												
	火葬炉工事																												



＜植栽凡例＞

記号	名 称	規格寸法			数量	単位	備考
		H	C	W			
ツ	サツキツツジ	0.4		0.5	13	本	
モ	モミジ	4.0	0.3		1	本	移植 ③③
モ	モミジ	3.0	0.23		1	本	移植 ③④
	センチビードグラス	4株/㎡			110	㎡	不織布防草シート
備考		特記なき樹木の移植先は場内とし詳細は監督員との協議による					

＜外構凡例＞

		仕様・規格	設計数量
舗装		アスファルト舗装 ⑨密粒度アスコン(13F)	1,270 ㎡
砂利敷	A	化粧砂利(那智黒石) 不織布防草シート共	10.8 ㎡
	B	単粒砕石敷 不織布防草シート共	8.4 ㎡
五郎太石 3寸		厚200 不織布防草シート共	18.9 ㎡
RC塀	A	入口新設塀 H=1800 せつ器質ニ丁掛タイル張り	42.3 m
	B	北側新設塀 H=1800 せつ器質ニ丁掛タイル張り	9.0 m
既存フェンス基礎		一部取壊し、新設の上既存フェンス再取付け	28.7 m
緑石	A	御影石 100×150×300	38.9 m
	B-1	擬石ブロック(1段) 190×150×390	28.8 m
	B-2	擬石ブロック(2段) 190×150×390	12.4 m
地先	C	歩車道境界ブロック(一般品) 150/170×200×600	27.7 m
		地先境界ブロック 120×120×600(一般品)	47.0 m
側溝		U字溝 300B(コンクリート蓋 1種仕様 0.5m×276枚)	156 m
		U字溝 300B(細目グレーチング蓋T-6 1.0m×28か所)	
		横断用U字溝 300B(細目グレーチング蓋T-14 1.0m×7か所)	
集水樹		U字溝 450(コンクリート蓋 無し)	7.0 m
		400×400×H800(細目グレーチング蓋T-2)	26.0 m
暗渠管		VP 200φ	10 箇所
その他		駐車場白線引き	9.0 m
		車止めブロック W=600	12.8 m
			6 箇所
○●% →		側溝勾配	既存舗装面レベルを示す 計画舗装面レベルを示す 1FL = DL +7.40 設計GL = 1FL-500 = DL +6.90
○●% →		舗装勾配	
----->		雨水暗渠ルート(端部接続レベルを示す)	※ハザードマップによる想定浸水レベル DL+7.28
(6.10)▲		※機械設備工事	